

成年
コミック

獣耳の リコリス

Lycoris of Kemomimi

1

電子限定

特別収録★

描き下ろし

12P!!

★★★

Presented by Kyougoku Touya

京極燈弥



Presented by *Kyogoku Touya*
京極燈弥

獣耳のリコリス

Lycoris of Kemomimi

1



Contents

005

1話 (『ダスコミvol.2』収録)

027

2話 (『ダスコミvol.3』収録)

047

3話 (『ダスコミvol.4』収録)

067

4話 (『ダスコミvol.6』収録)

093

5話 (『ダスコミvol.6』収録)

115

6話 (『ダスコミvol.7』収録)

135

7話 (『ダスコミvol.8』収録)

155

8話 (『ダスコミvol.9』収録)

175

9話 (『ダスコミvol.10』収録)

195

9.5話 (電子版限定)

この国には「奴隷」と呼ばれる
「人種」が存在する。
人工生命「ホムンクルス」と
呼ばれる者達だ…。

第1話

それらは人工生命ゆえに
人間からモノとして
認識され管理されている…。

—そして「奴隷」を
奴隷たらしめるのが
刻まれた淫紋である。

国の重要な
財源となっている。

「奴隷」は国営店のみ
売買が許可され—

淫紋を発動させることで
「奴隷」は快楽に支配され
所有者の意のままになる。

これに対して国は
「奴隷」の厳格な管理を
義務つける
「奴隷管理法」を制定—。

不法な「奴隷」売買や
扱い等に対し
厳罰を科すようになった…

—だが結果として
「奴隷」犯罪が多発し
治安の悪化を招く
一因となってしまった。

—というのが
この国の「奴隷」に
関する法の一部だ



他にも法律はあるが
本作戦に関係ないので
省略する…っ

へ〜ところで先輩
その法律って全部
覚えてるんすか？

当然だ！
俺達は法の執行者だ
貴様もしっかり覚えろ
クライヴ！

はい

…



まあいい
今回許可されたのは
「麻痺の付呪」のみ…
無いよりマシな程度だが
ちゃんと装填しておけ！

はい

で鍵は？

先輩の
ありがたい話の間に
解除しておきました

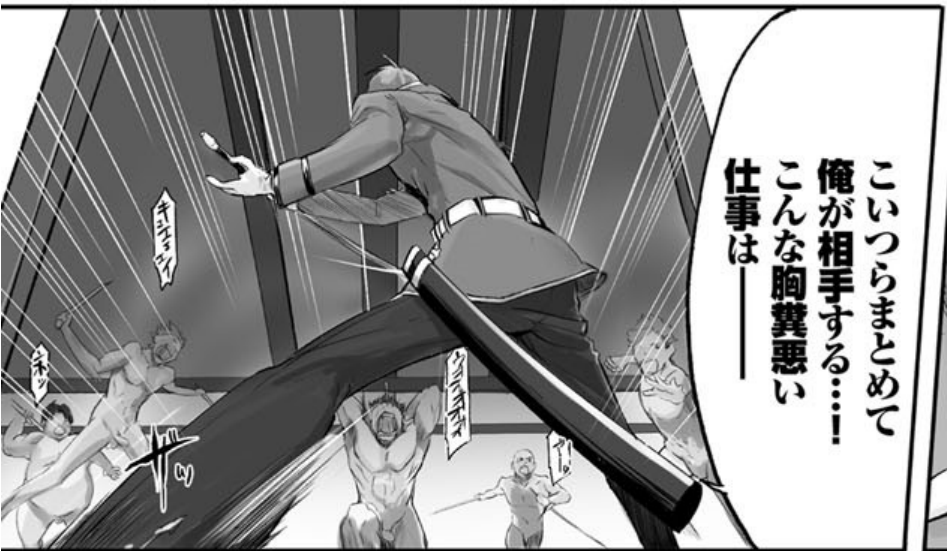
宿屋の一室…
しかも常設の鍵以外
なんの用心も
してなかったんで
ラクショーですよ



トッ
—ではこれより
本作戦を開始する
…いくぞ

そこまでだ！







鎮圧完了

ふう



さて

クライヴはどこにいった?
まさか:逃げたか?

あ先輩!
こっちはです

ん?
:何か問題でも
あったか?

おっおっ

それが…
リストにない
『奴隷』が一体…

何？
リストにない

だ—と

たぶん非正規ルートで
入手した『奴隷』っすね
その割には手つかずなのが
ちよい気になります…

……
この耳の切れ込み…
リサイクル品だ…

あーなるほど

商品にしようとしたが
発育不良とかの理由で
放置された…
といったところか？

調教痕が無いのも
納得っすね…で
これはどうします？

……なぜだか
この『奴隷』を見てると
なんかこう…

懐かしい…よつな
不思議な気分…？

せんぱい…

……

…んぱい？

先輩！

せんぱーい
寝てるんすか？

ぬ

はっ

さつきから
呼んでたのに！

あいたーッ！！

だからって
急に顔近づけるな
気持ち悪い！

それより
リストよこせ！

理不尽っす！

確かに『奴隷リスト』に
載ってないな…
漏れてことはない
だろうな…？

全部裏取ってるんで
それは絶対ないっす！
だから先輩の判断を
仰いだんっすよ



…見たところ
外傷はない



若干衰弱して
見えるが

薬物を使われた
形跡もない…



…本当
どうします？

どうするも何も
登録のない『奴隷』は
管理所へ行きだ

そういうことだ

ああ…
処分っすね…



クライヴ
魔色迷彩は
持ってきてるか？

一応ありますケド
…先輩まさか？



…
そうだな…



そのまさかだよ

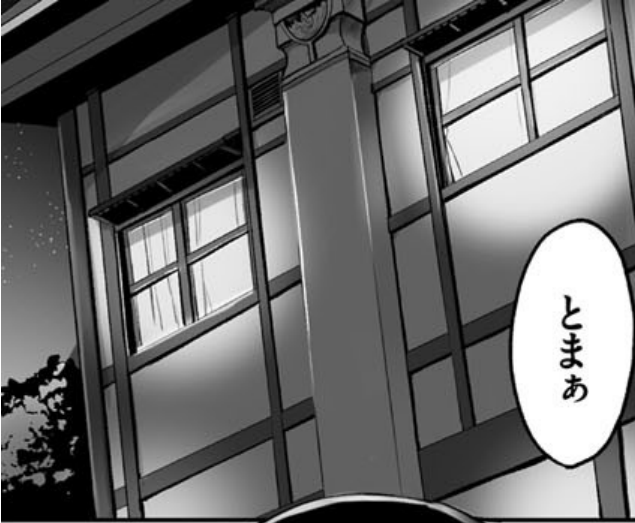
『奴隷』は
俺が保護する

あ！…普段
クソ真面目で堅物なのに
変なところで大胆なんすから…
まあ報告書は適当に
でっち上げときますよ

ああ頼んだぞ
やはり持つべきものは
理解ある後輩だな！

こんな時だけ
調子いいんす
から…

アサ



とまあ



勢いで連れてきたはいいが…

完全に法律違反がヤバすぎる状況だが…今は一旦捨て置こう
そんなことより…だ!



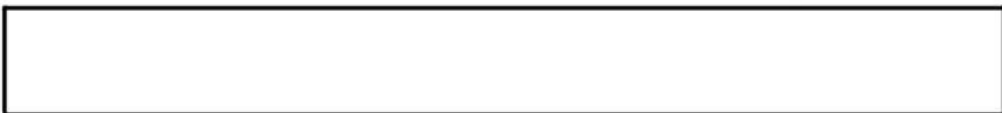
『奴隷』の知識は一通りあるが…正直どう接していいかまったく分からん!

…そもそもなぜ俺は『奴隷』を保護しようと思ったんだ…?



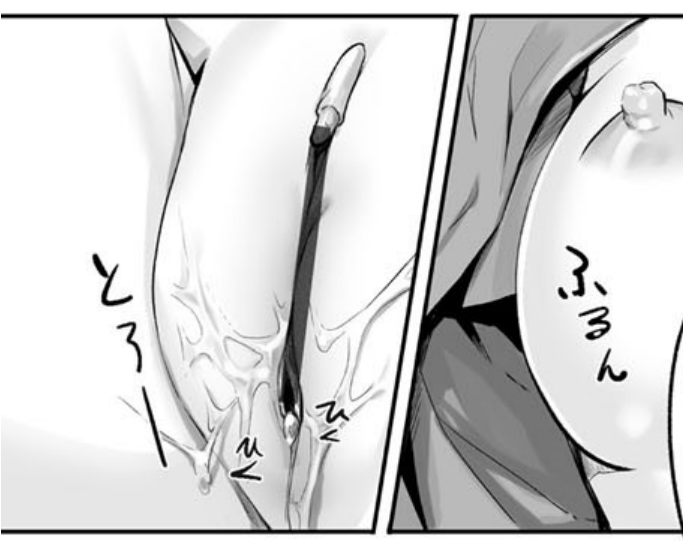
もい

もい





大した身体つき
ではないが……
こここれはとられる
ものがあるな……



やはり俺にも
『奴隷』所有願望が
人並みにあったのか……？



ほら
股開いてみる





さすが淫紋
といったところか

これだけ濡れてりや
大丈夫だな



分かんが—
ちゅん



今からコイツで
楽にしてやるからな

まあお前小さいから
ちゅんと挿入るかは…



なっ！



!?

血っ!?



さすがに
きついな...!

半分も挿入^{はい}って
ないのに—



遠慮なく
突っ込んだしまったが
大丈夫…っ!!



すまん!
『奴隷』に処女なんて
いないと思ってた!



そういうことなら
こっちも好きに
やらせてもらおうっ



そうだな

…確か淫紋には
痛みを快感に変える
効果があったっけか…



さすが「奴隷」…
もう膣内^{なか}がほぐれて
完全に俺のを
啜え込んでる…!



根元まで
ずっぽりだ

愛液もあふれて
泡になってる



それに小ぶりだが
胸の感度もいい…っ



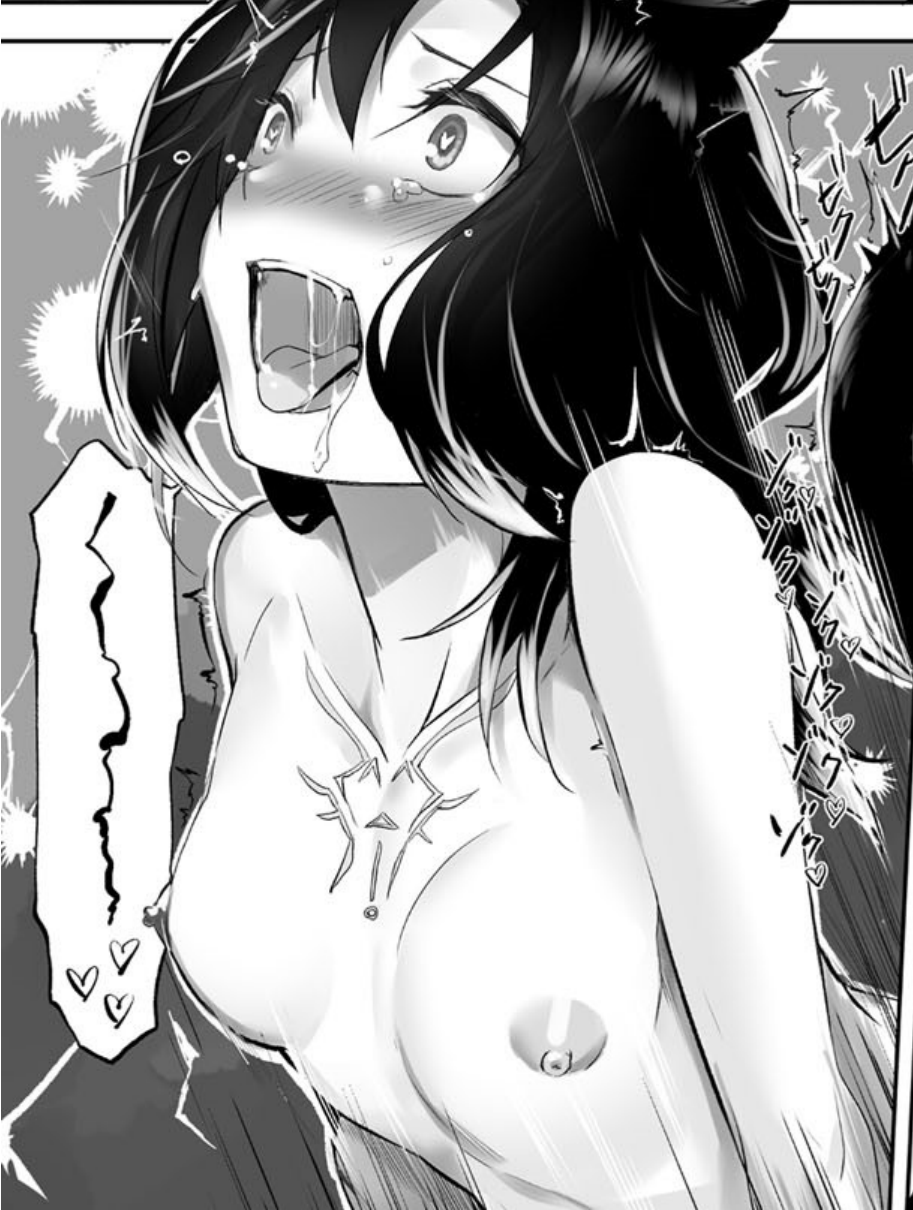
だが…
なんといつても





この、獣耳だな！

「ホムンクルス」でしか
味わえない
この「しっぽ」と...



本来の動物と違って
快感を得るためだけの
器官なんだろう？







つく!?
急に腰の動きが...っ
これじゃすぐ...!!



コッチは
どうだ?

そっちが
その気なら!



もうもたん!
射精^だすぞ!!





——ふふっ



なんだ今のは...?
夢...?
俺は...寝てたのか...?

ん?



んあ



『奴隷』を拾ってきたから
変な夢を見たのか...?

いや...



...ってなぜ
部屋の隅に!?

ベッドで寝れば
いいものを!?



ってあれ?
アイツは—



どっか似ているからだ



あの『ホームンクルス』に

TO BE CONTINUED...



多分この『奴隷』—
いや、ホームンクルスは

おーい
お前...
ミルク
俺が小さい頃
世話になった...

飲むか?

なんだこの音…
あとなんだ
この感触…?

股間が
温かいものに
包まれて…

ナニやってる
お前さん？

あ〜…

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

…ん

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

♡

♡

♡



待って待って...
何やってるんだって
聞いてんだが...

...おい

ちゅ ちゅ ちゅ



...いや
待てよ

...なんのさねば...

ちゅ ちゅ ちゅ



淫紋が発動したのか?
それとも腹減ったのか?

...って聞いているのか?
返事ぐらい——



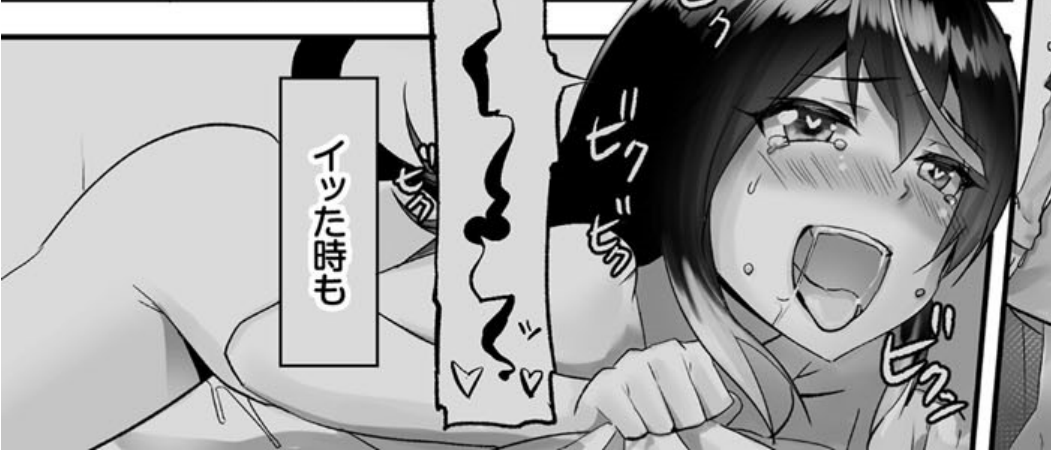
セックスの時も



昨夜連れて帰った時も

今日からここが
お前の住みかだ

狭いところだが
あそこよりやマシだ
好きに使え



イッた時も

声を聴いていない

フ
フ

ちゅっ♡

おまんこ

そもそも欠陥品
かもしれん…

麻薬や
精神的にやられた
可能性もある…

単に
無口なのか？ いや…

あんな場所にいたんだ…









はっ!
すまんっつ!
強引に押さえつけて
しまった!

はっ!
つくあ...っ!
しゃ射精が
止まらない...!



...大丈夫
そうだな

精液丹念に吸い出して
さらにうれしそうに
尻尾振っちゃってまあ...



こぼれた分まで
きれいなため取って
本物の猫みたいだな



腹は膨れたか？
急にフエラで
起こされるとは
思わなかったぞ

今までいた場所で
そうしろと
言われたのか？

ギョ



…で

ヒッ



しかし普通の食事でも
腹は膨れるんだろ？
言えばメシぐらいー

って



すごい既視感だよ
お前さん…っ

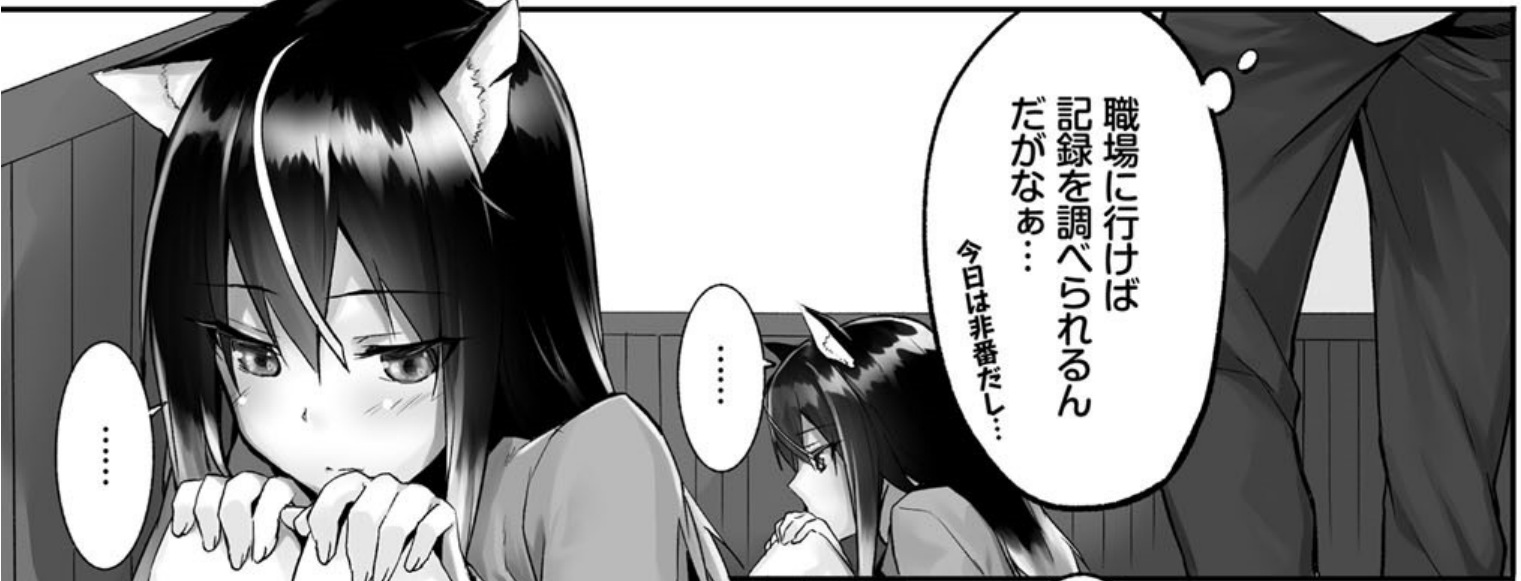
ちよこちゃん
…



…とはいえ、奴隷^{こいつ}を
理解せず保護するのは
得策じゃないなあ…



しゃべれないなら
今はそれでいいさ



職場に行けば
記録を調べられるん
だがなあ…

今日は非番だし…

……

……



……しかしえらく
おとなしいな

食事の時は
あんなに強引で
騒がしいのに…

俺しかいないんだ
少しぐらい
気を緩めても
いいんだぞ…?

パン

ナニコレムソムソ

気にかけて相手に
無視されるのは
『新人教育』任された時
以来だな……っ

耳はムクムク動いてるし
聞こえてるはずだが……

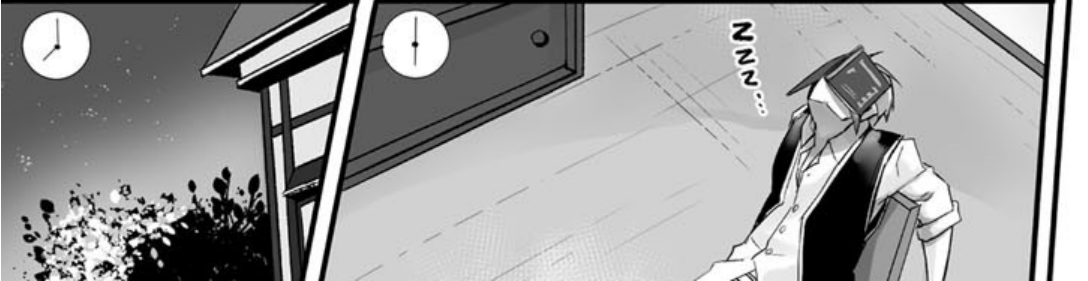


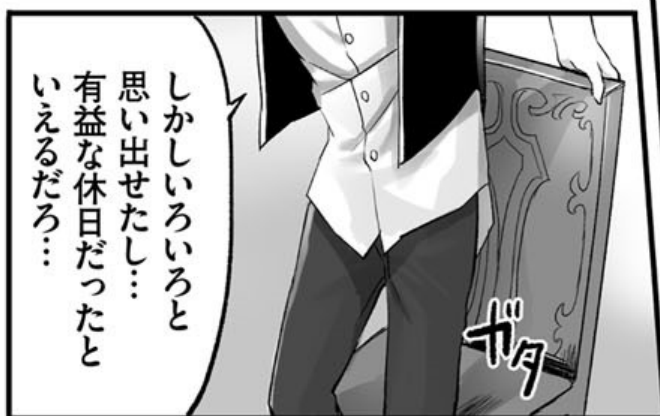
何かあったら言えよ？
俺は隣の部屋に
いるからな……



……まずは
奴隷オシロイから調べるか……
昔勉強したが
記憶が曖昧だしな……

……しかしまさか自分が
奴隷所有者になるとは
夢にも思わなかったぜ……





あー...いや別に責めてるわけじゃないんだただせっかく部屋を使つていいのにもったいないだろって



ビクッ



この臭い——

へたん



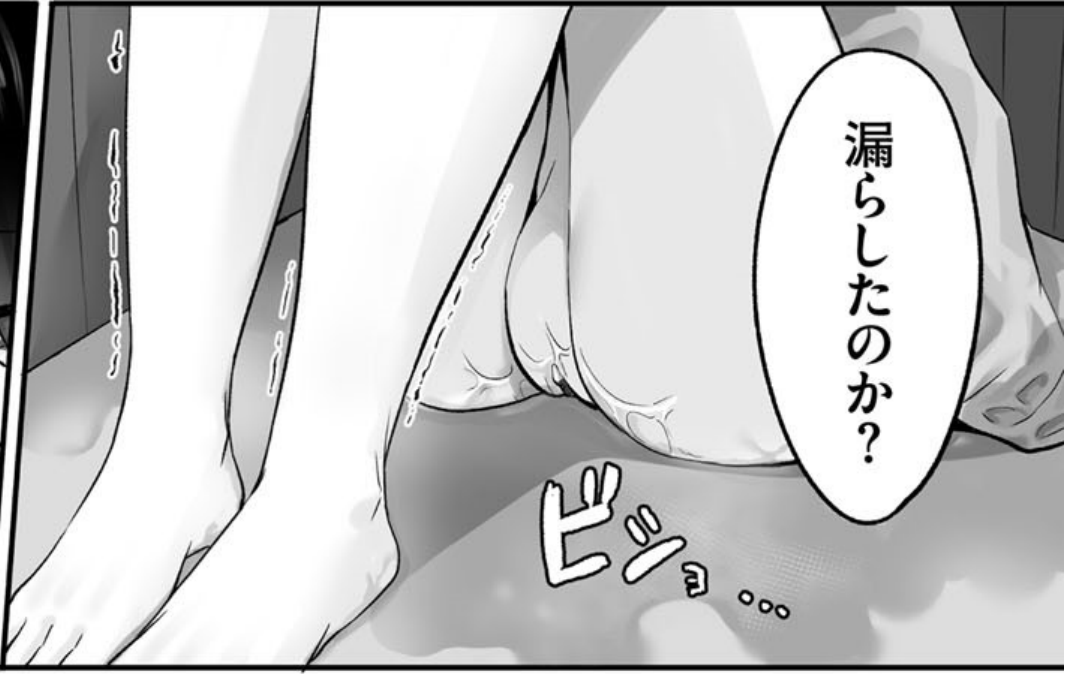
そんな耳へたんとさせなくても——ん？

まさかお前



漏らしたのか？

ビクッ...



.....

しかもこの量...一回じゃないな何回もここで出したのか？



おい



きんぐん





うおっ

かっばっ



どうしたんだ急に…?
足でも滑らせたか?

とりあえず
お前は風呂に行け
掃除は俺がしとくから…



まっ待て!!

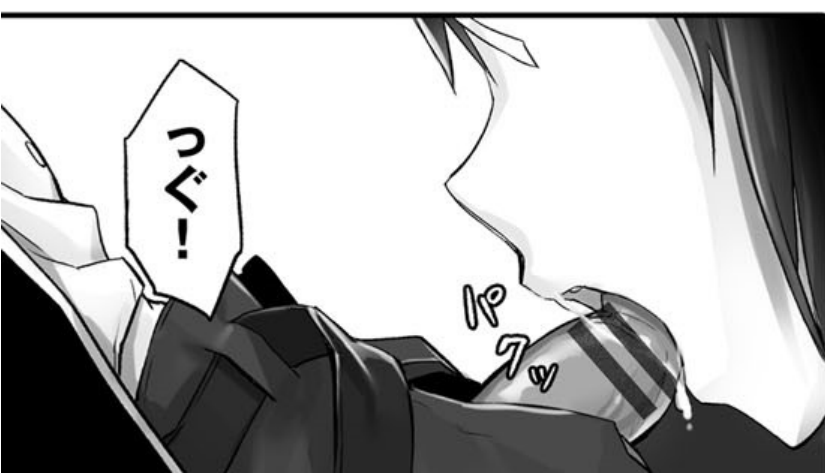
がばっ

たっ



……って
聞いているかー?
何してるおい!

カッ
カッ
カッ



つぐ!

ぱっ



淫紋が
発動したわけでは
ななごうだし…



ム…ムムム
急げムムムムム



尻尾も耳も
元気がない…



まるで何かに
怯えているようだな…

戸惑っているのかな——？

ちゅっ
ちゅる
ちゅっ



そんな俺に
こいつの感情を
理解できるわけない…



…作り出されてから
こいつに何があったのか
俺は知らない…

俺が知ってるのは—
地獄のような場所に
いたってことだけだ…



ちやんと俺が
面倒見てやる…
だから心配するな



!



ア…



…だからこそ
俺はこいつを
救わねばならない…!

ギョッ

そうだそれでいい
淫紋の力でも
なんでもいいから

つらいことを
少しでも
忘れられるように

お前も
楽しんでくれっ

俺が全力で
かわいがって
やる

いくぞー!





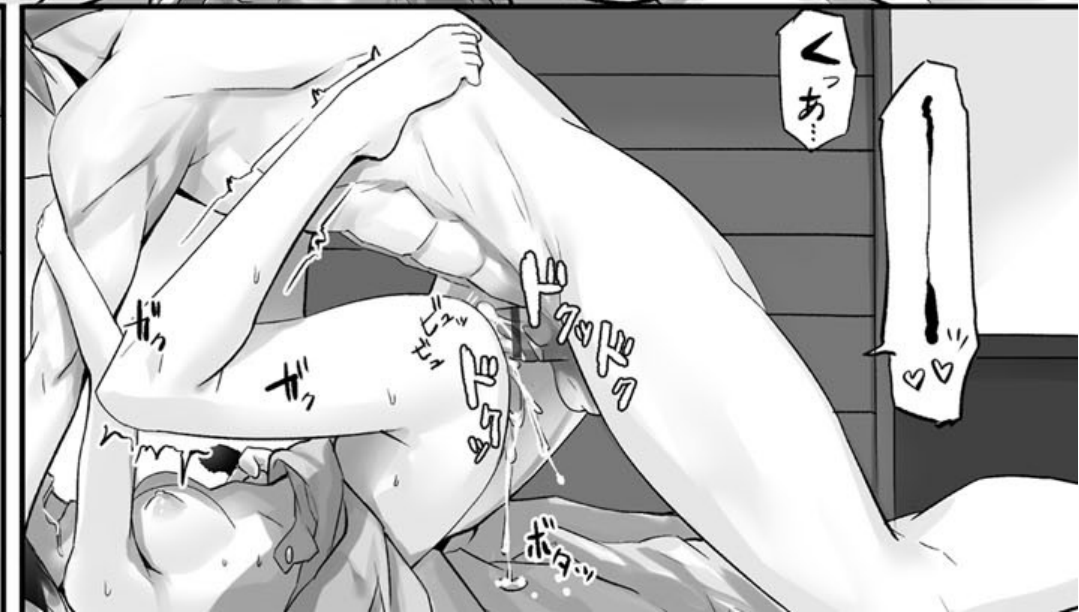
つながったまま
耳なめられるの
好きだな…っ



なか
膣内の絞めつけが
断然強くなるっ！

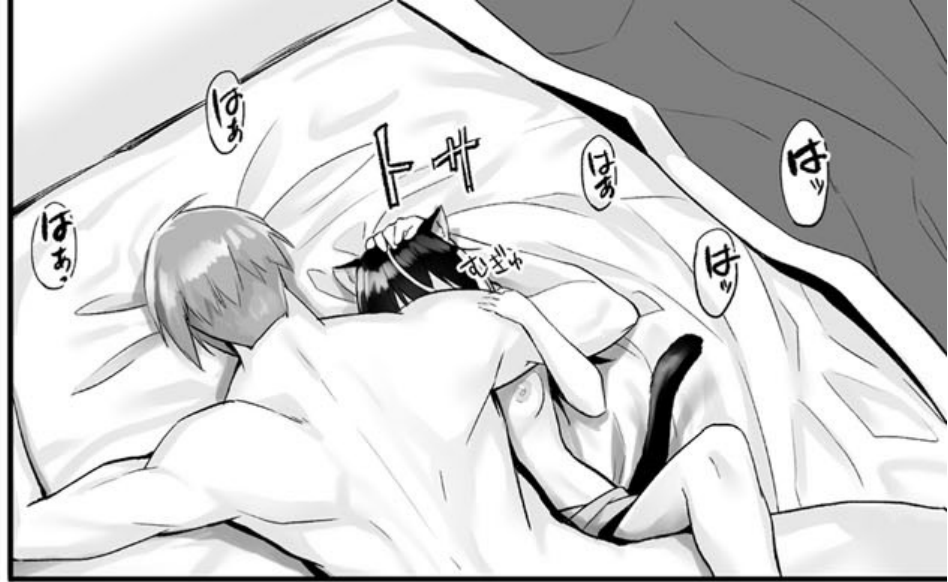


そろそろ
射精そうだ！





ぐ…すごい快感と
脱力感…っ



これは
鍛え直さないと
いけないな…

何…心配するな
お前に不自由は
させんよ



…
奴隷の相手
というのは
意外と大変だな…



TO BE CONTINUED...

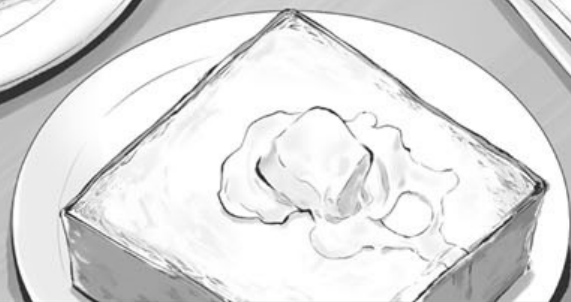


よし…

さっ風呂入って
さっぱりしようぜ
二人だとちと狭いが



コト



普通の食事でも
腹は膨れるんだろ？
だったらそれ食べろ



おい…なんだその
不思議そうな顔は？



今日は急遽
休暇を取ったが
明日からは仕事もある

ガッ



仕事場に着いたら
ヘトヘトというのは
さすがに問題だ…

…って



メシの食い方から
教えなきゃ
ならんのか？

フソッ？

シュー


ちゅぽ

？


ちゅぽ




今日の朝は
いきなりフエラして
こなかったが
毎朝あれでは俺が困る




……とまあ
お前に必要な物を
買いに来たわけだが



さすがに奴隷産業で
栄えた国だけあって



こうやって見ると
意外と奴隷連れって
多いんだな…



しかもそれなりに
身だしなみが
しっかりしている

それにくらべ
こっちは…

くたあ

つーって
まずは服だ！

仕方ないことだが
服のいたるところが

ハドヤ

痛んでボロボロに
なってるな

ボロボロ

奴隷専用
モール

このままじゃ
人目が気になって
買い物もできん！

ここなら
大抵のものは
そろってるはずだ…！

カキ
カキ



初めて入ったが
…普通の人間の店と
変わらんな…



まあ…
まずは服だな！



へえ…

耳やしっぽ用の
アクセなんかも
あるのか



サイズも
ぴったりだ

おおっなかなか
いいんじゃないか？



店員を
呼んでこよう

……



これなんかどうだ？



ほう、
いいじゃないか！
見違えたぞ



いらっしやい
ませ〜

.....



よしっ
それを着たまま
買い物の続きをしよう

会計してくるから
待っていてくれ

ありがとうございます
ございます



※魔法が使える者のみが持てる国指定の紙幣。価値が変動しない





淫紋か！



釣りはいらん！
チップとして
受け取っておけ！

いんぞう！

…この店は
もう来れんなっ

ありがとうございます
ございましたっ



はあ

はあ

人目がない所まで
来たが…
帰るまでもちそうか？

ふいっ…

ハッ

ハッ
♡

…その顔を
見る限り
無理そうだな…

分かったよ
ここで慰めてやる





こんな所じゃ
のんびりできん

いっいかん…



手っ取り早く
済ませないと…!!



…この濡れ方なら
すぐできそうだな!



指入れただけで
イッたのか？





もう限界か
…待ってろ
今シてやる！

壁に手をつけて
こっちに
尻を向けろ…



よし…
いいコだ！



いくぞ！



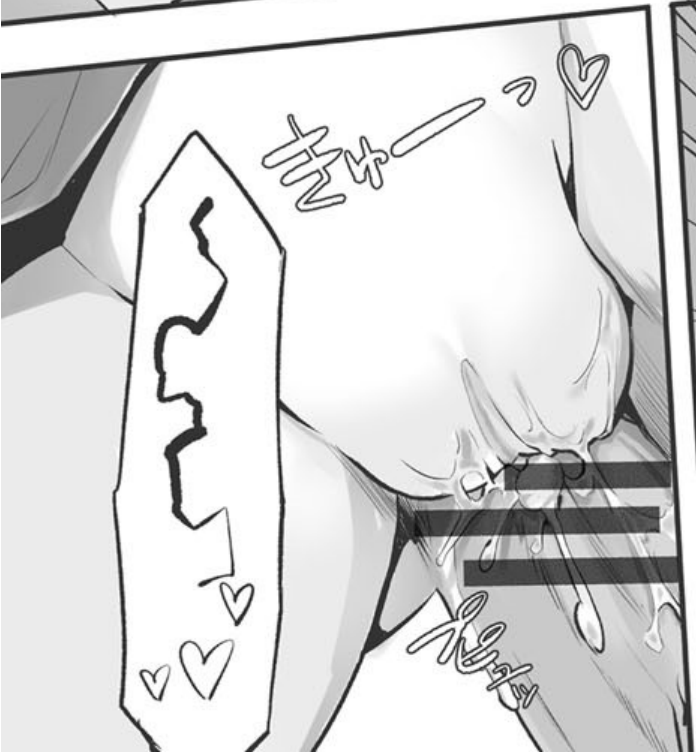
嬌声が出ないのは
こういう時
助かるな…!!







そろそろ
射精そうだっ!!



お前も一緒に
イケッ!!



しゅしゅしゅ
♡♡





——無事帰宅

ただの
買い物のつもりが
えらい目にあつたな

憲兵が野外プレイで
検挙とかシャレにも
ならんわ…

でもまあ

服一つで随分と
かわいらしく
なるもんだな！

…だがまあ今日は
さすがに疲れたな…
買い物はまた今度に…





今日こそは
仕事いかんとな

ん？



ん…



……ん？
あいつは
どこいった？

昨日は隣で寝た
はずなんだ—



ボロボロの
奴隷服をまた纏い…

こつ然と
姿を消していた

TO BE CONTINUED...



気まぐれで拾った
奴隷は—



が

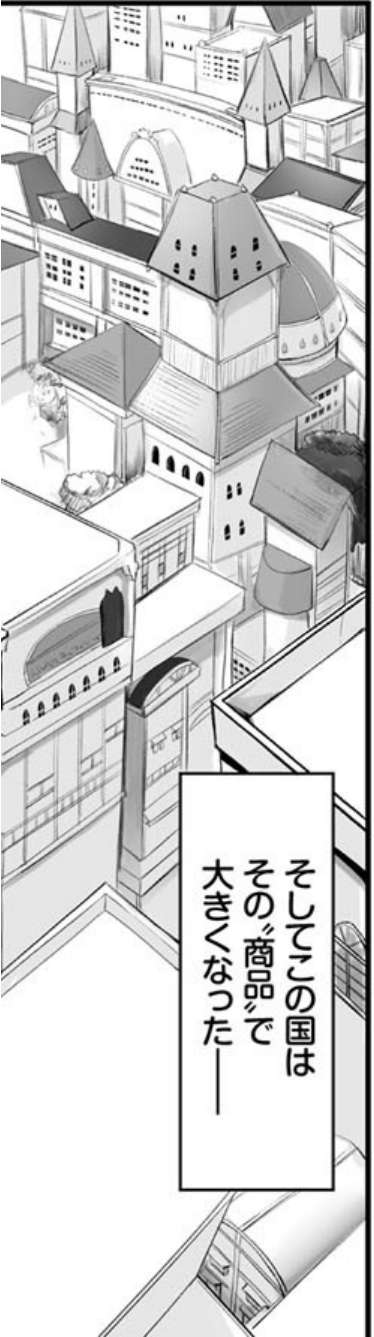


あいつらは
人が作った
人造人間で――



分かるわけ
ないだろ――

ホムンクルスの
気持ちなんて



そしてこの国は
その商品で
大きくなった――



飼われる
商品でしか
ないんだ

高尚な趣味を持った
人に買われ――



だからこそ
ホムンクルスの
管理は重要だし

それが俺の
仕事だから

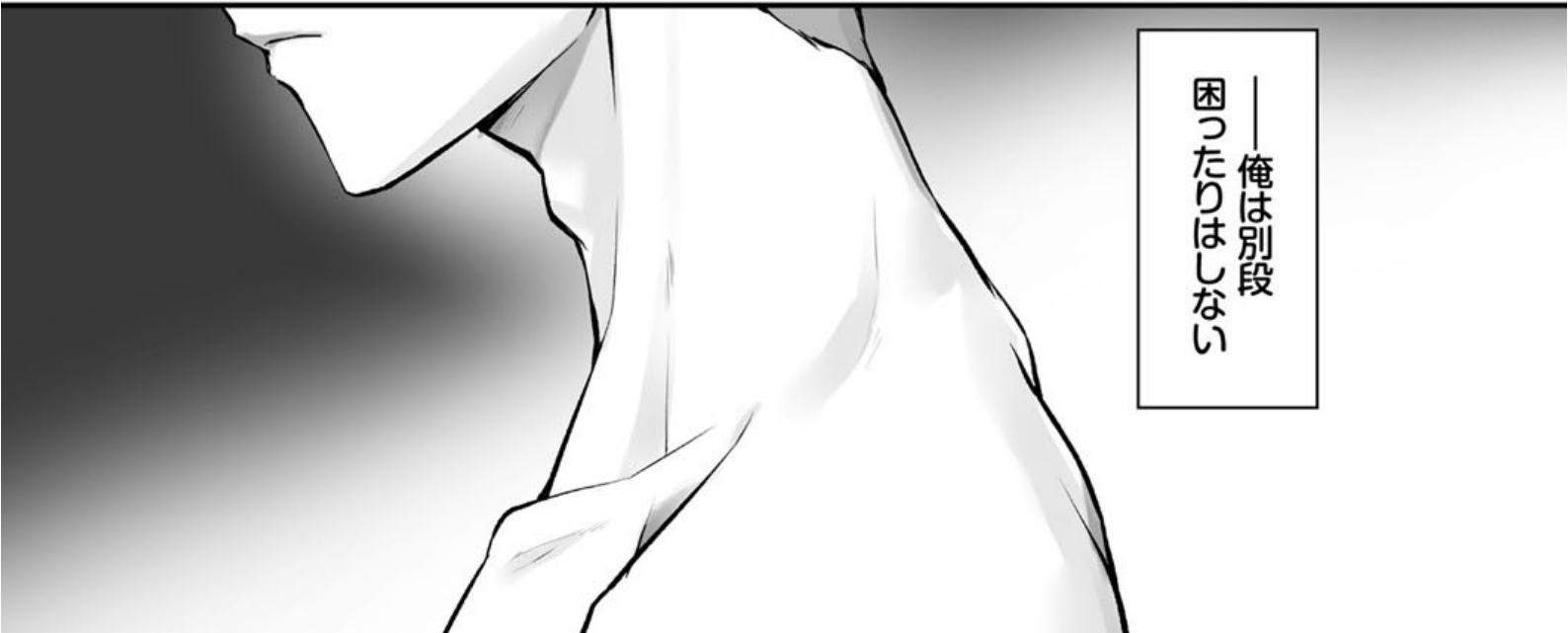
なんの疑問も
持つ必要なんて
なかった——



アイツを保護したのは
ほんの気まぐれ——

もしアイツが
『保健所』に
連行されたとしても

俺につながる情報は
絶対に発見できない



——俺は別段
困ったりはしない



違っ!!



違いだろっ！

そっじゃないぞ

そっじゃない!!

己の未熟を
アイツに
なすりつけるな！



もう一度よく考えろ
アイツはなぜ逃げた？

保証された衣食住を
放棄してまで
逃げ出した理由は――



問題は野良になった
ホームクルスは
例外なく保健所行きで…



いやっ
今考えるべきは
そこじゃないっ！



例外なく――

殺処分だ



ひとまずは
周辺の搜索から
だな…!



まずはアイツが
観てきた景色を
たどってみるか…

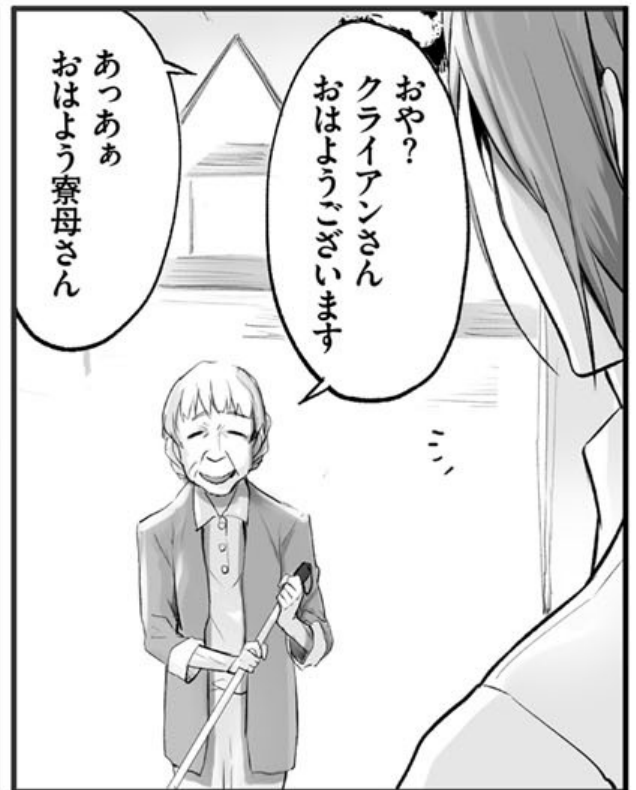
この街で見たものは
そう多くはないはずだ



ん?
なんででしょう?
お仕事のこと
ですか?

そんなところだ
この辺で…

忙しいところ
すまない
一つ聞きたいことが
あるんだがいいか?



おや?
クライアンさん
おはようございます

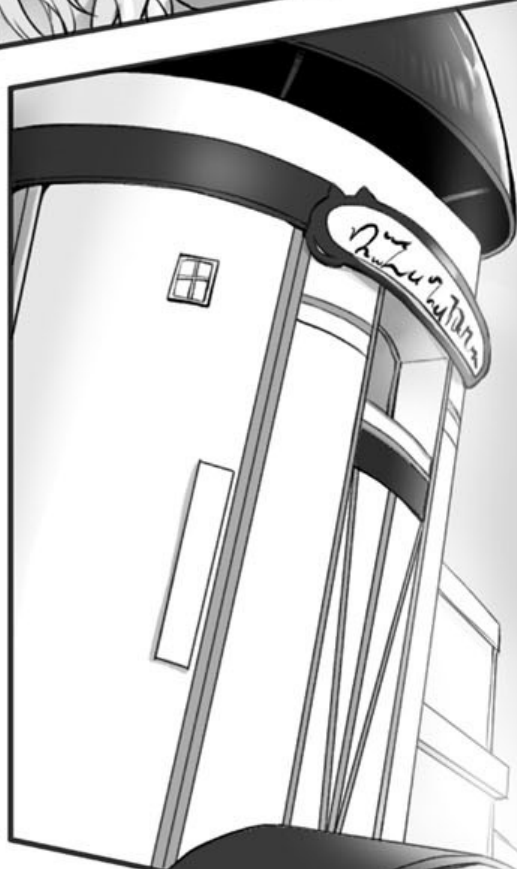
あつあつ
おはよう寮母さん



つまり夜中のうちに
外に出たことになる

——寮母は
アイツを
見てなかった

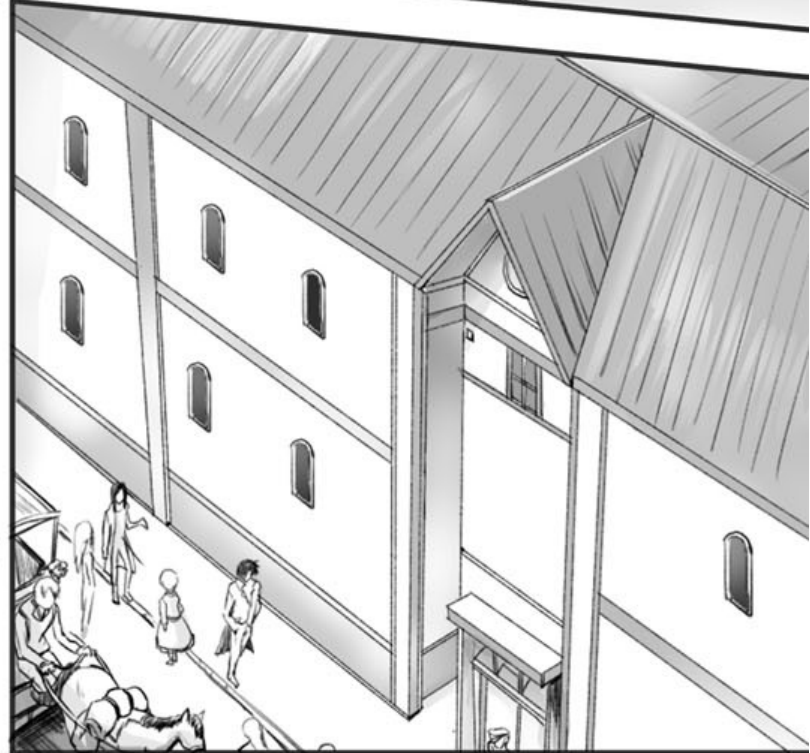
見当たらない…



夜中もやっていて
ホームクルスがいても
変じゃないあの店ならと
思ったんだが――

次はアイツのいた
奴隷商がねぐらに
していたあの宿――

あんな所に
戻るとは
思えないが…



当然…いないか



あの奴隷商の
足取りも遡ったが…
見つからなかった…



あとアイツの
行きそうな場所…
いや…



行けそうな…場所







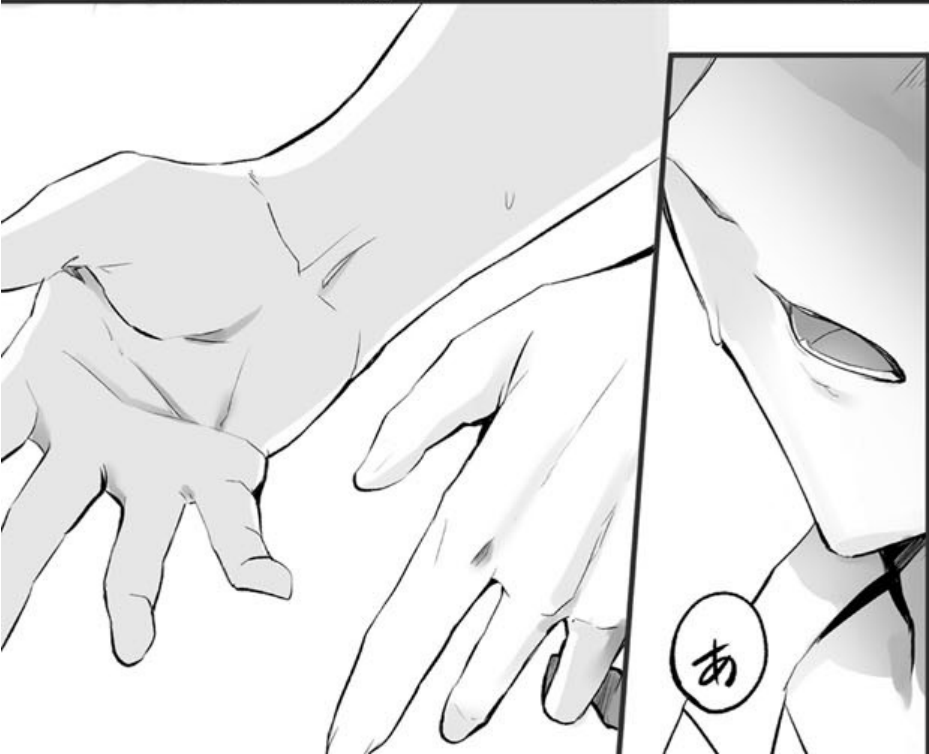
灯台下暗しとは
まさにこのことだな



随分探したぞ



そうだよな…
普通に考えれば
そんな遠くに
行けるはずな—





慣れない環境に
いきなり来たんだ…
どうしたらいいか
分からなくなるよな



あそこを
お前の居場所に
していい

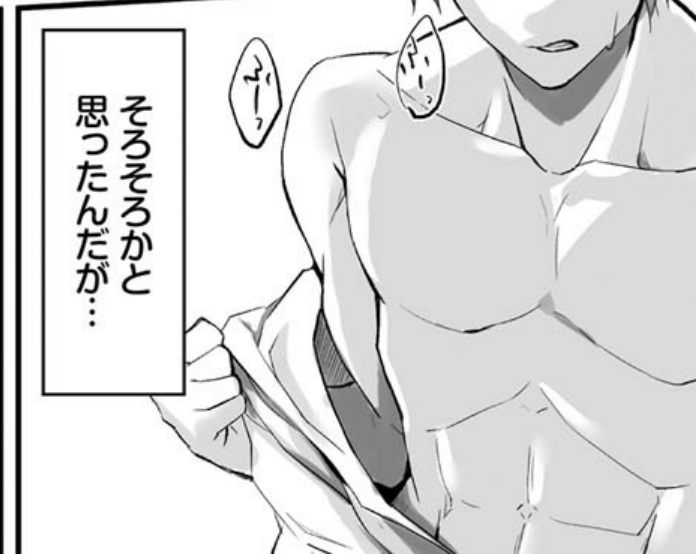
だから

帰ろう



もう大丈夫
なんだ

何も怖がる
必要はない







そうか…
今のはキスと
言っただけ

ゴク

ゴク



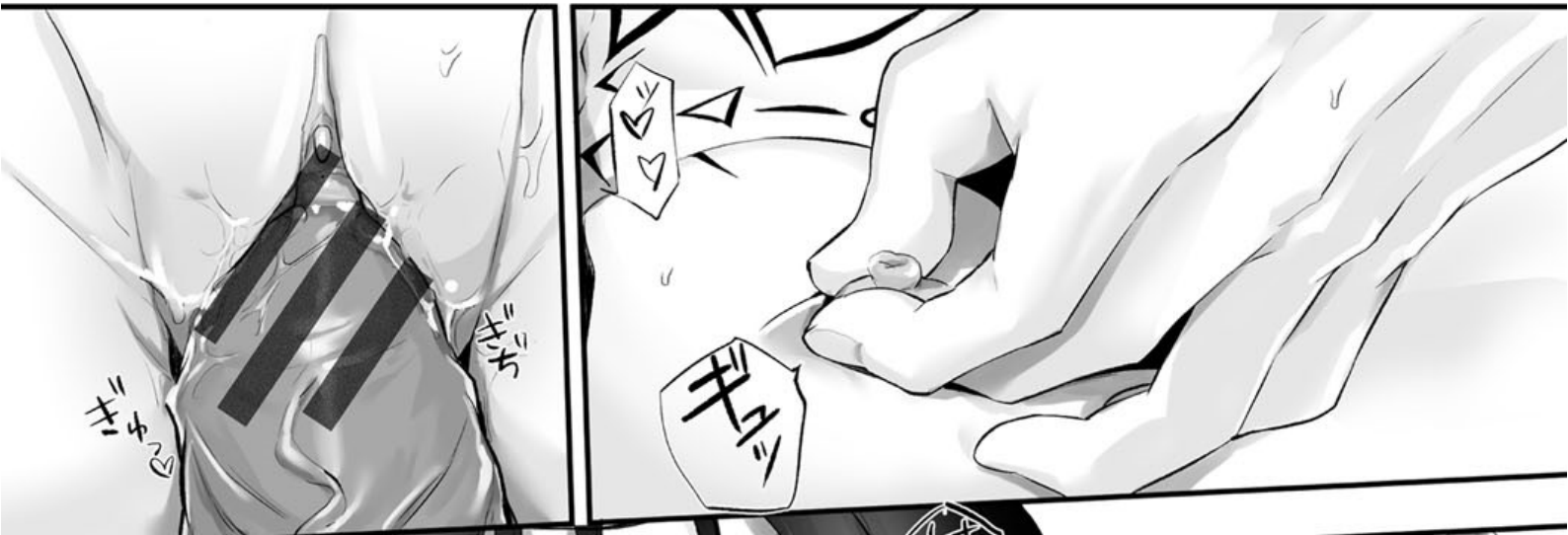
大切に思う
相手にする
行為の一つだ

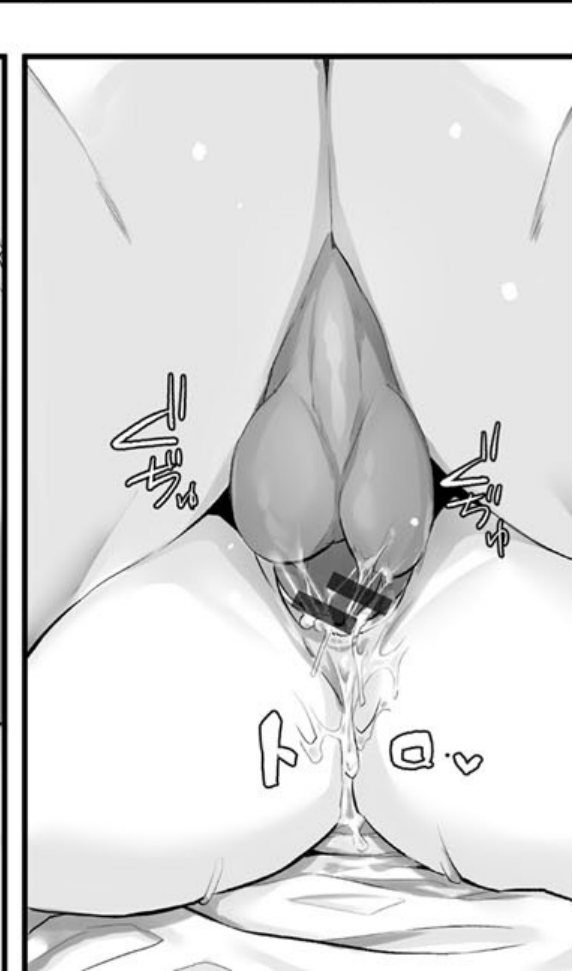
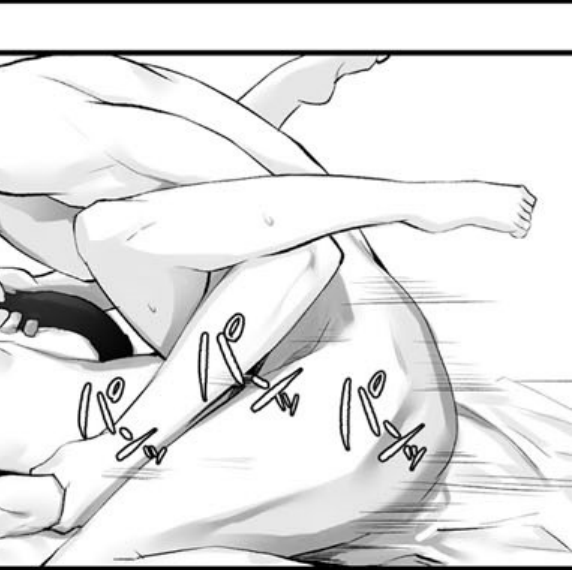
がば

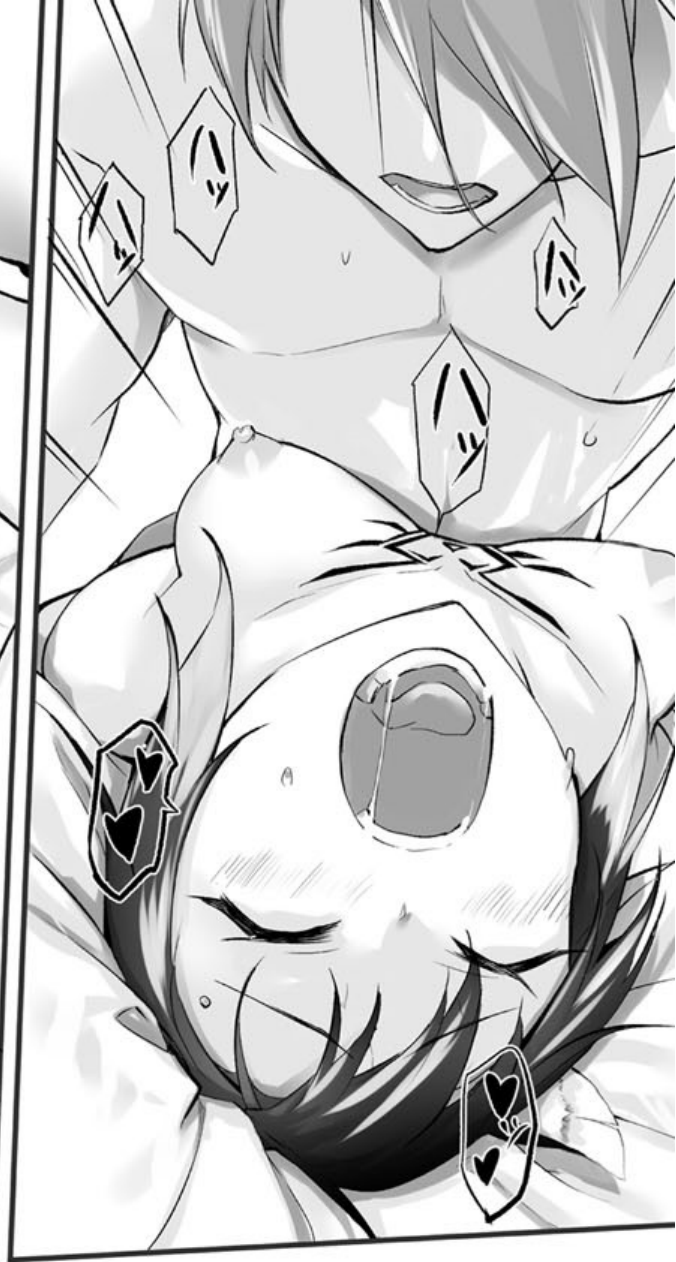


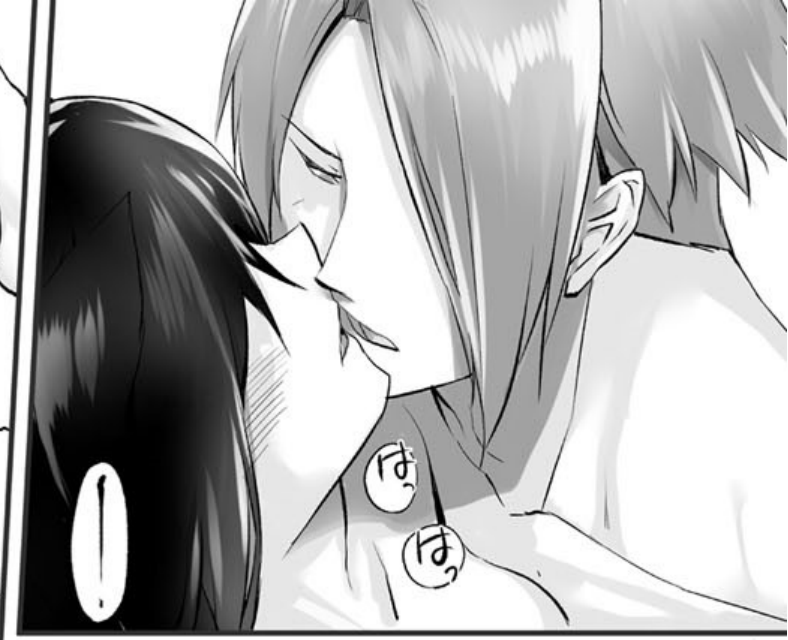








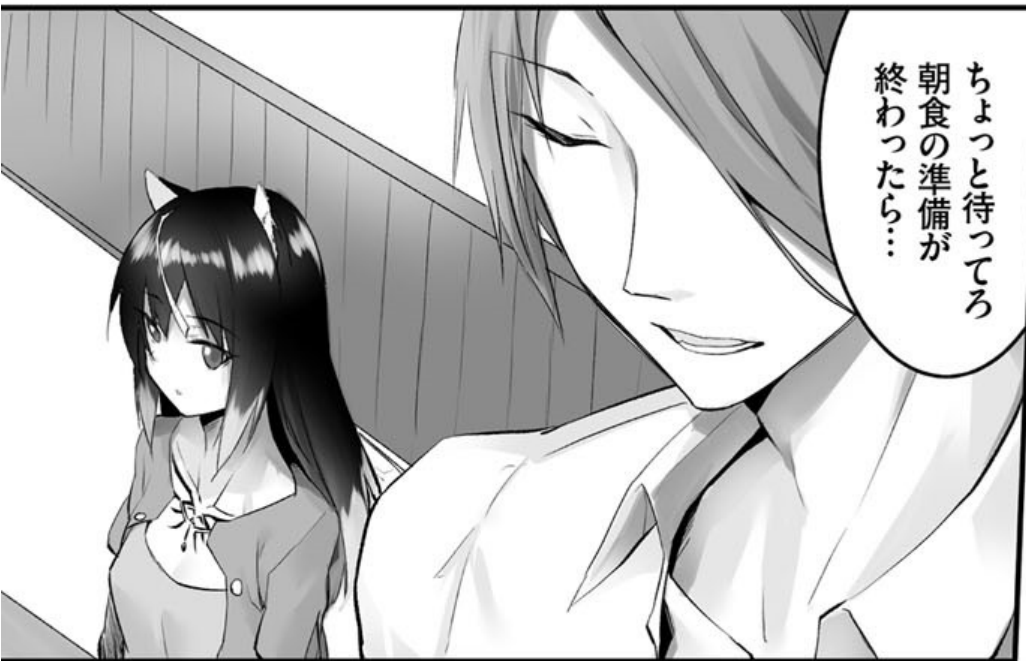




くっ...とろとろ
射精そつだつ!

いんえ!!





※フォーク、ナイフ、スプーンなど、食事の際に手に持って使う器具の総称。







TO BE CONTINUED...



そんなもって上からは
欠勤理由を問詰められ
ごまかすのめっちゃ
大変だったんっスよ!!

……

無断欠勤三日間!
三日間っスよ!?

その間どれだけ
仕事回ってきたと
思ってるんスカ!

さらには「クソ忙しいが
お前には任せられん！」
とか言われてえつつ
不意に自分の—…

なあ…
クライヴ

…5日前
犯人の
取り逃がし

…7日前
書類の損失

…12日前
作戦中の
持ち場放棄

…14日前
痴情のもつれで
後輩の女が署に強襲

…18日前—
etc. etc.:

全部俺が対応した
『余分な仕事』だ…

さあクライヴ君

おはよう

おはよう

ございますッ!!

よし

…まあ冗談は
このくらいにして
フォロー助かった

冗談…

ガッ

……で
結局あのユは
先輩のどこに？

ああ…
アイツがらみで
ちとドタバタ
していた

へん…

…奴隷の
扱いにくさを
痛感したよ…

みんなよく
気軽に楽しめる
もんだよ…

おんじの書類
出しなつた。

ポラ

…？
奴隷が扱いにくい
ですって？

ああ

これは先輩
異なことを
おっしゃいますね

ギ

奴隷ほど
分かりやすいのも
ないでしょ？

ピク



嘘だろ？

…先輩って
図鑑だけ読んで
動物園とかで
実物見ないでしょ？

まあ…

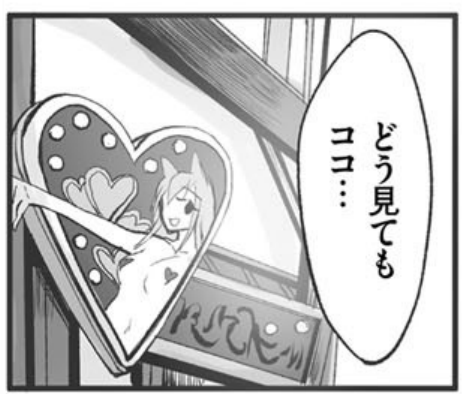
多分、奴隷のこと
全然分かってないん
だと思いますよ！

…逆に
え？

奴隷はこの国の
『特産物』だと思って
見てきたからな…

それ！

そこっすよ！



歓楽街だな…

どう見ても
ユコ…



ってことで！

次の休日
つきあつて
くださいっす♪

……と言われて
出てきたが…



…こんなトコ
上の連中に
見られでもしたら…
なを来ちましたんね

せんぱーい！



…で今日は
どういう用件で
こんな場所に
呼び出したんだ？

あつ
それは



ういっす！
遅刻しましたッ！
寝坊っす！

殴るぞ？

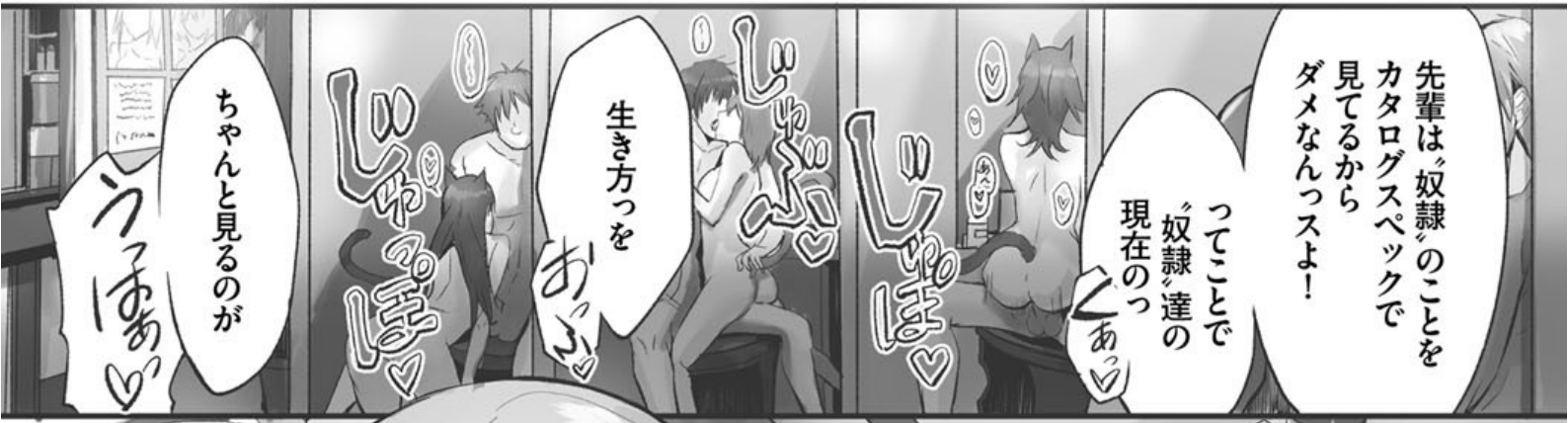
こんな場所で
待つ人間の
身にもなれよ！



先輩の
社会勉強
っす！

あ？

つてことで
こっちっす！



先輩は奴隷のことを
カタログスペックで
見るから
ダメなんっすよ！

つてことで
奴隷達の
現在のっ

生き方っを

ちゃんと見るのが

ういっすっ



一番
なんっす!!!

あーまぢいー



だからってなんで
奴隷娼館なんだ！
この馬鹿——！！

…お客様

ありがとうございます♡

フェラ上キ♡

メイドがニヤニヤ♡

お待たせ
しました



本日はご来店
ありがとうございます

お！

クラリスと
申します

先輩ラッキー
っスね

よろしくお願
いいたします



そのユウこの
ナンバー！
っスよ！！



……

でも俺は三ちゃん
がいっぱい♡

もー♡



…このお店は初めてですか？

R+ まあな



それじゃ早速始めますね…

ふるん



……

コト足りているように見えましたものですから…



やはりそうでしたか

…なぜそう思う？

なんとなくですが…

雰囲気…でしょうか？
こういう店に来なくても…

カチャ

カチャ



…しかしせっかとお越しにいただいたのですし…

今日は存分に

この身体を楽しんでいってくださいますか…♡

ズ



コト



入っている基礎能力は
『話術』『口淫技術』
『美声』か…



『自発承認型の淫紋』
…と…
ノア生態研究所の
『商標奴隷』か…



薬物使用の
痕跡等はなし…



スズネがどれだけ
劣悪な状態にあったのか
よく分かるな…

もっとくま
取り締まる
方法を—



お客様の…♡
すごいご立派
ですね…♡

クラクラ
きちやいます♡

他に外傷等は無し
魔力状態も良好



…



おっお客様?
あの…

クラリスと
言ったか…

今日は相手して
もらってありがとう
勉強になった…



ガッ
アッ

!



今日は楽しかったよ

先輩!?

せんぱー!!



帰る

金は払っておくから
お前は最後まで
楽しんでいくといい



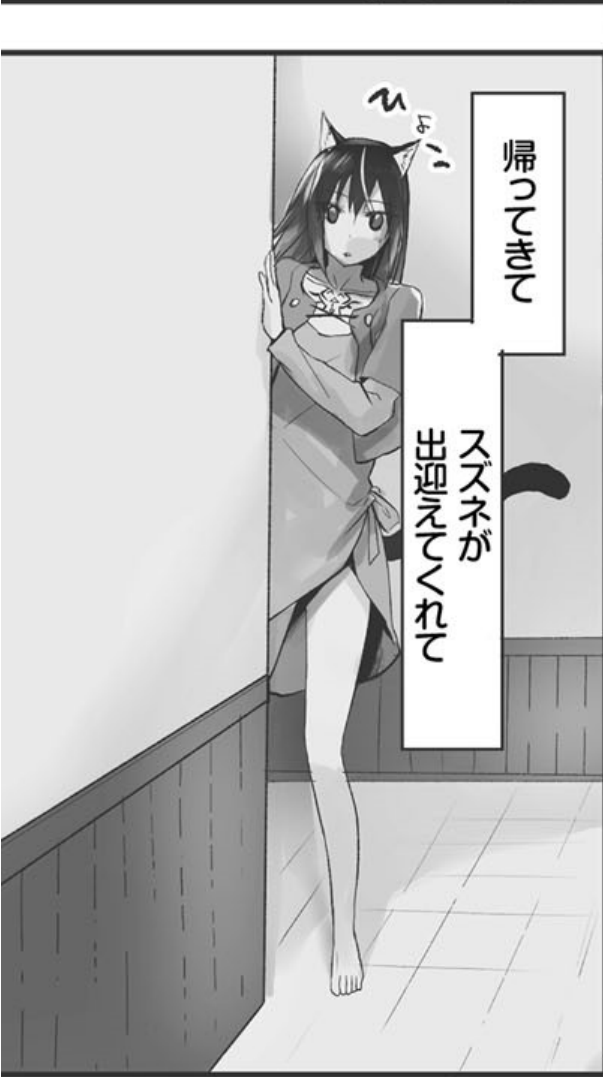
そんな
急に!?



帰るって…

…で

ちゅ
ちゅ
ちゅ



帰ってきて

スズネが
出迎えてくれて



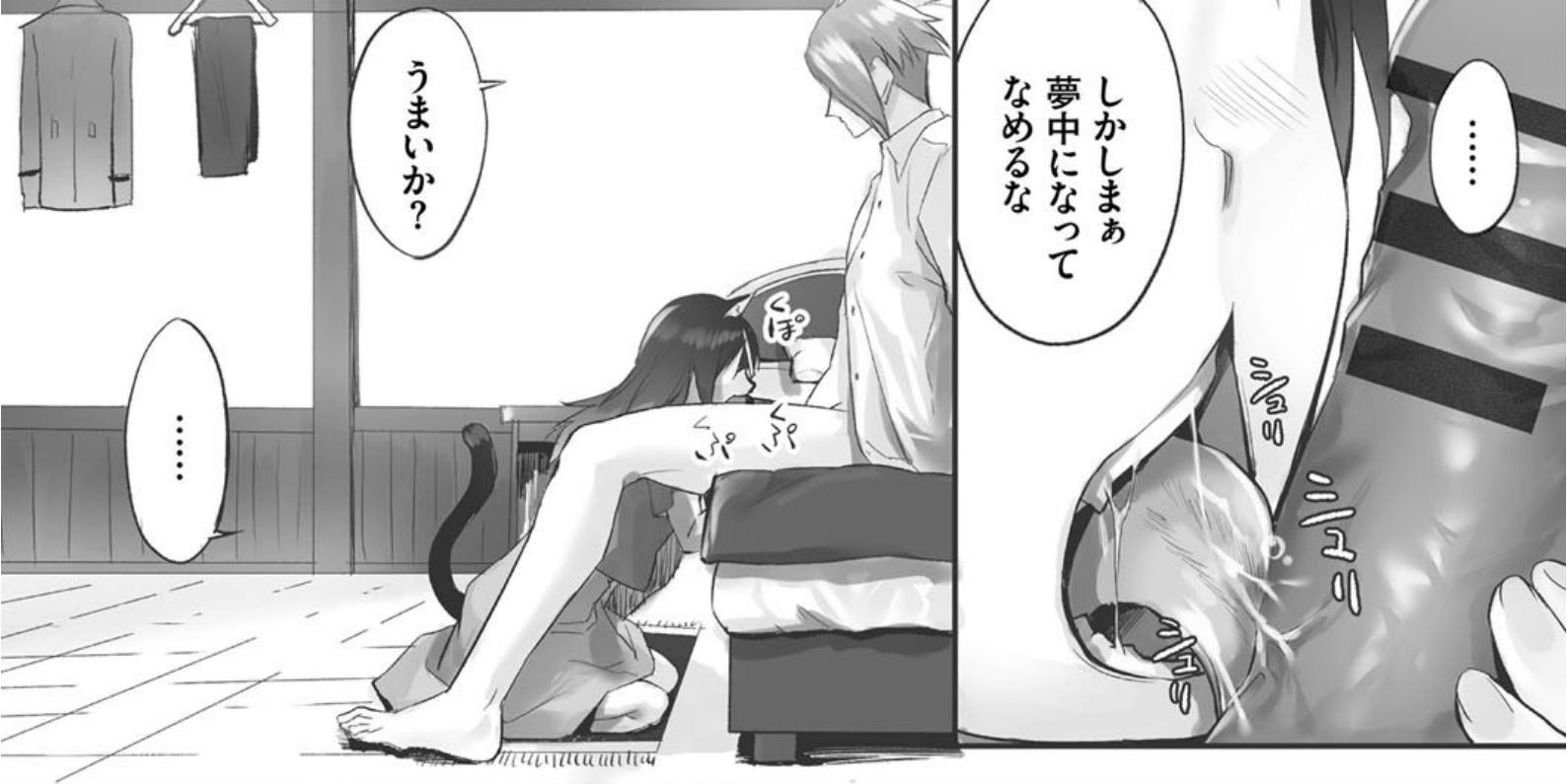
その顔を見たら



俺は
何やってんだ？

ちゅ
ちゅ

♡♡♡♡♡







…ちゅちゅちゅ

射精る!

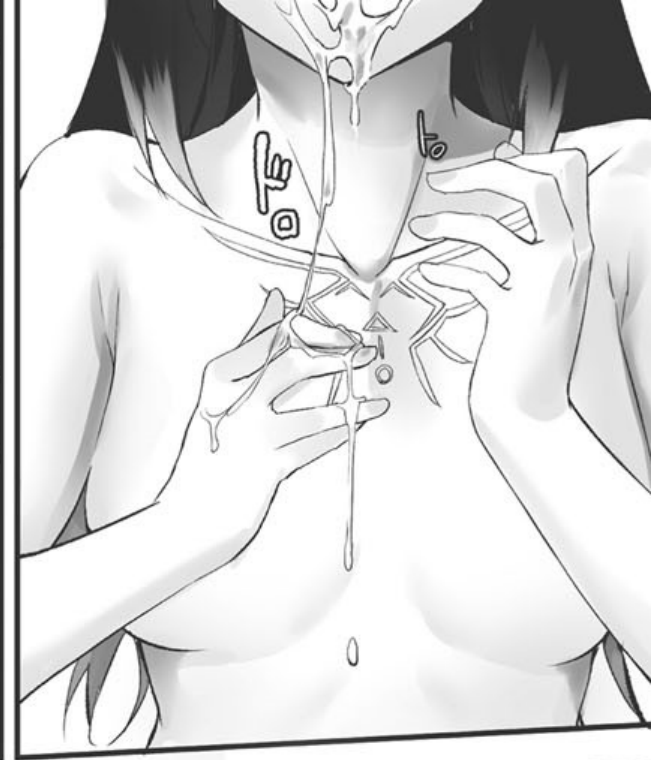
ちゅちゅちゅ



ちゅ

ちゅ

ちゅちゅちゅ





今日はもう少し
ごちそうして
やれそうだ…!

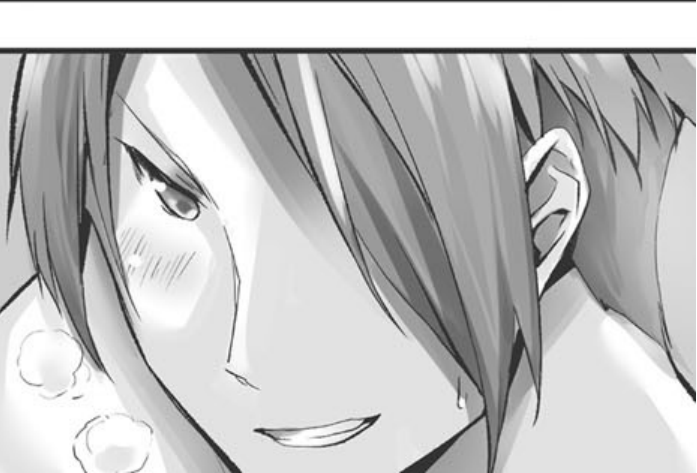


こっちも
グチヨグチヨに
なってる…

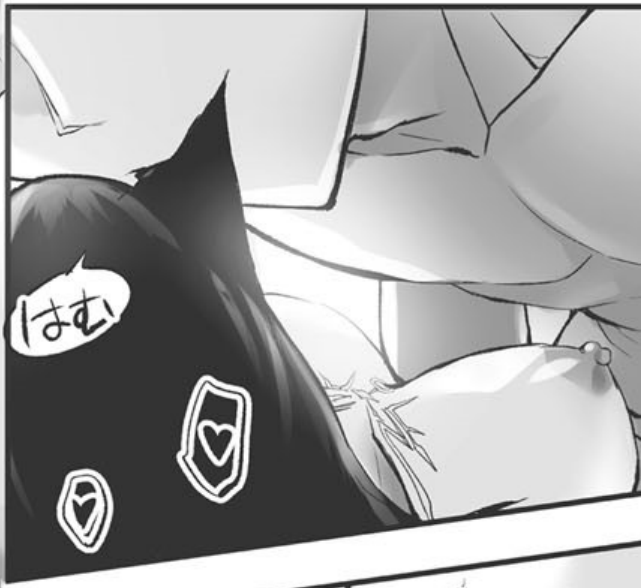
それだ…
淫殺もまだ
おろまじいなさ



スズネもなか臍内に
欲しいだろ?







また……
射精るぞー！

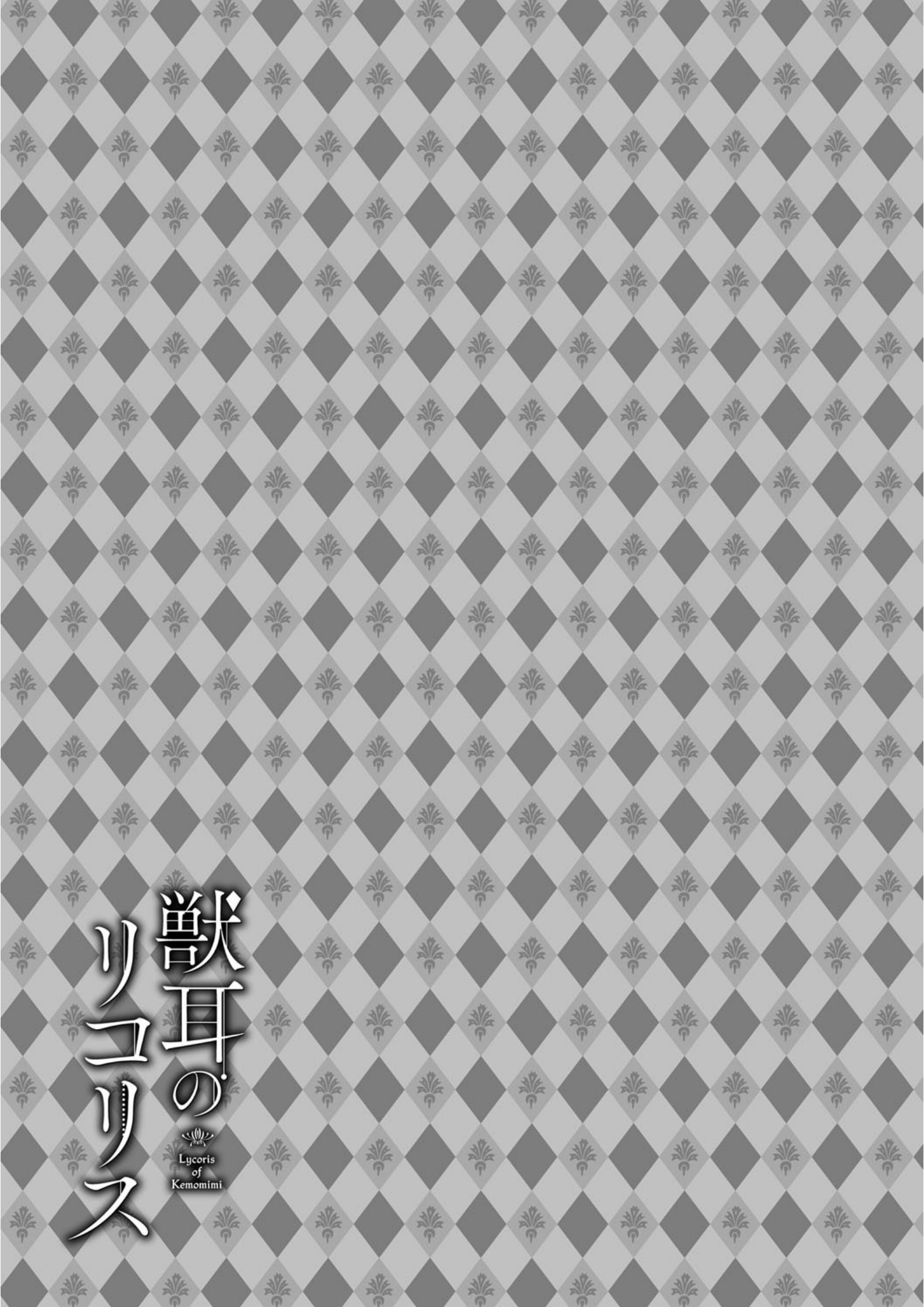








TO BE CONTINUED...



獣耳の リコリス


Lycoris
of
Kemomimi



お前いったい
いつから
部屋にいた!

それは
もちろん



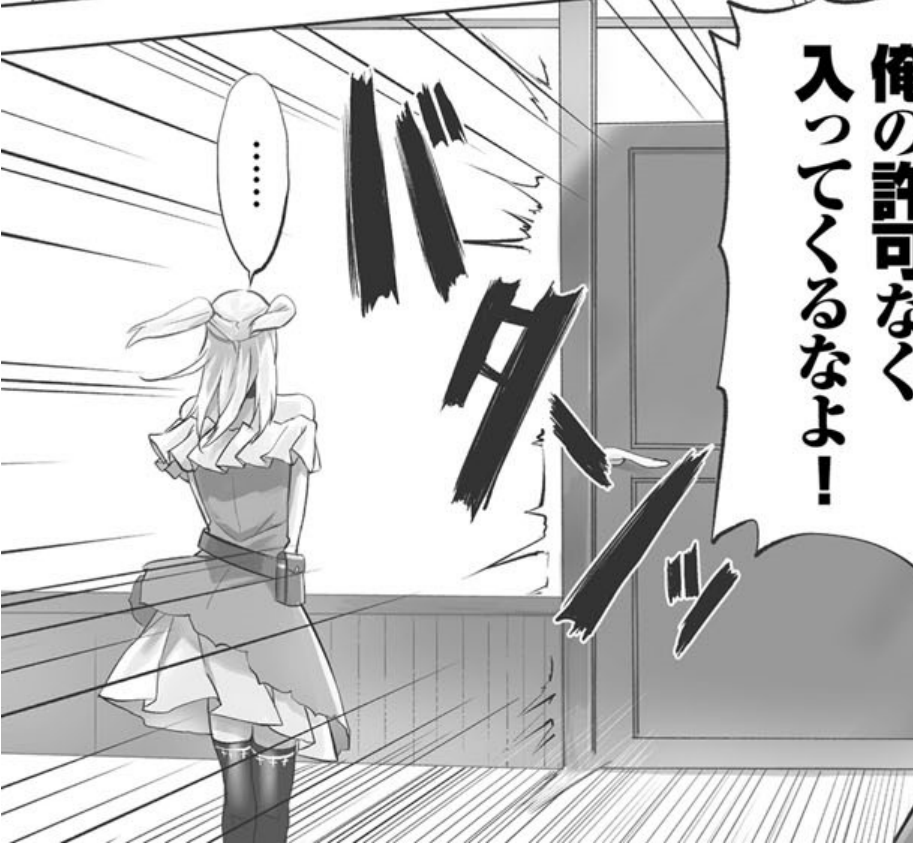
ちよちよつと
待て…っ!



いいか!
お前はここで
待ってる!

悪魔かお前は!!

お兄様が「お楽しみ」に
なってる時からですよ



俺の許可なく
入ってくるなよ!



フンス



……まあ
あのお兄様が
慌てるんです

少しだけ
待ちましょうか！

……これは……



まず……

なつた……



？

ズ……



妹のやつ……
なぜいつも突然
やってくるんだ……

は……

それよりも
この状況は
まずいな……





なぜかあいつは
俺と『ホームクルス』の
接触を極端に嫌がる

?



それがいつから
だったか
思い出せないが…

憲兵になる時も
えらく動揺して
いたし…

けんぺいだけさ

やだ!

おにいさま



そんなリーシャが
俺とスズネを見て
どう思う…

……



…スズネ
どこかに少し
隠れててくれないか？



それが難しそう
ならば……

衣装棚は中身
入っていない段が
あるし



負荷が少しかかるが
『透過のスクロール』を
使ってもいい



お前が
家にいないよう
見せかけたい



最悪…窓を伝って
外に出てもらうか

—ッ

いや…外から
それを見られるのも
まずいか…!

スズネ?
聞いているか?

ガッ

!?

キッ



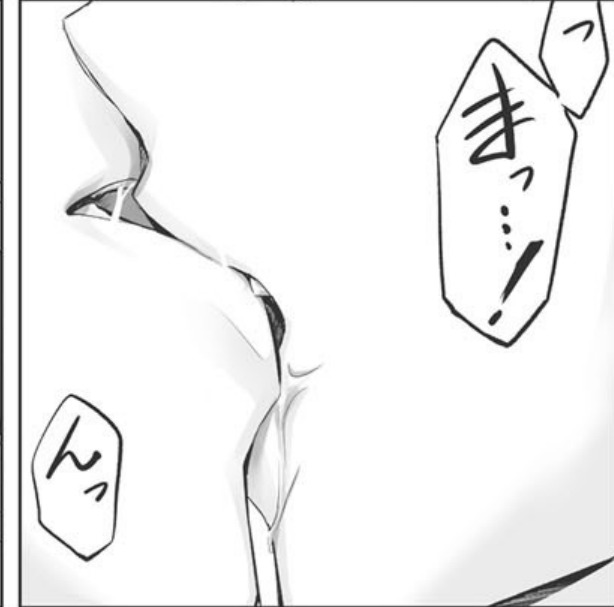
スズネ!?



いきなり
どうした!

今は相手してやる
時間はないんだ!

まずどこかに
隠れてもらうのが
せんけ——



こんなところ
リーシヤに
見られたら—

頼むから話を
聞いてくれ！

そんな場合
じゃ—

はッ

なぜ今…
キスッをせがむ！

今のはキスッと
いってな

大事だと
思える相手にする
行為の一つだ

ああ…
そっか

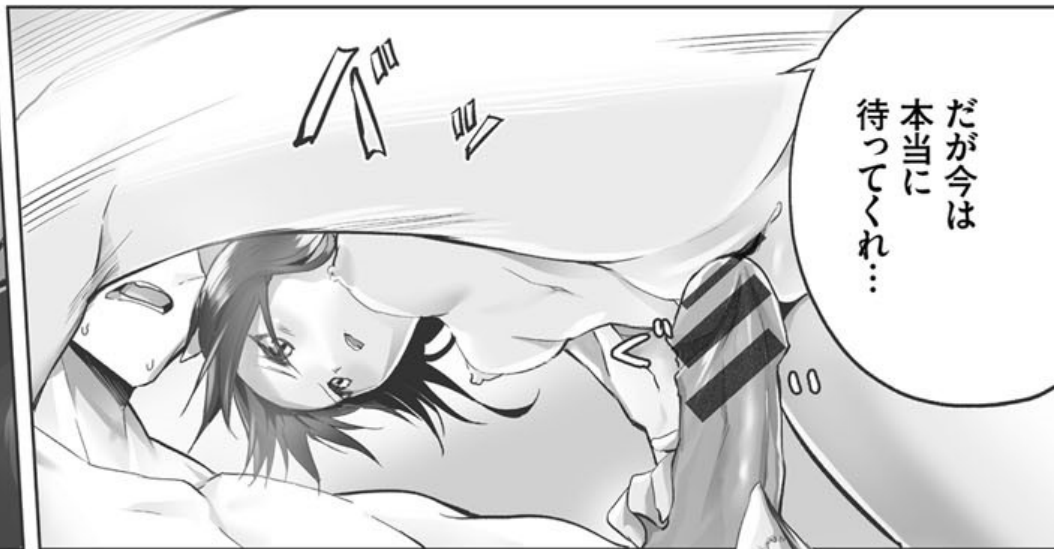
スズネに
とつても…

俺はそついつ存在
と云いたいのか？

トッ

トッ







ブル

!!

ぐわん

ブル

ブル

ギギ

ギギ

…まだそんなに濡れてないのに…

痛いに決まってるだろ！

カッ

ブル

ブル





!?

お酒



きゅん

くちゅ♡

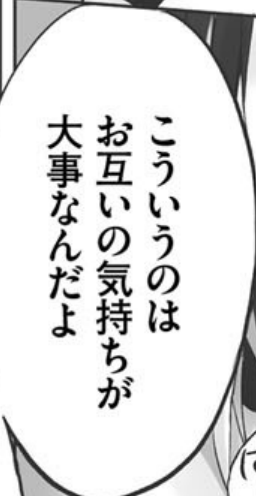
ほっ



はっ

はっ♡

どっちかだけが
頑張っても
ダメなんだ…!



こういうのは
お互いの気持ち
が大事なんだよ

はい



ほー

はい









いつまで待たせるつもりですか？



うまっ!!

もうこちらから入りますわよ!



お邪魔
しますわ！
おにい——



んき...

キィ...



ホホホ——

ホムンクルス!?

あああ...俺の迂闊...

TO BE CONTINUED...



リッ
リーシヤー!

入ってくるなど
言っただろう!



普通身内が
来てるのに
こんなこと
します!?



妹をしこたま
待たせておいて
よく言います!

しかし普通
人の部屋
勝手に――



くっのきもぞん!
フク!

何度もノックしました!
声もかけました!
気づかないほど
没頭してたのでしょ!?

しかもよりによって
奴隷…
ホームクルスと!

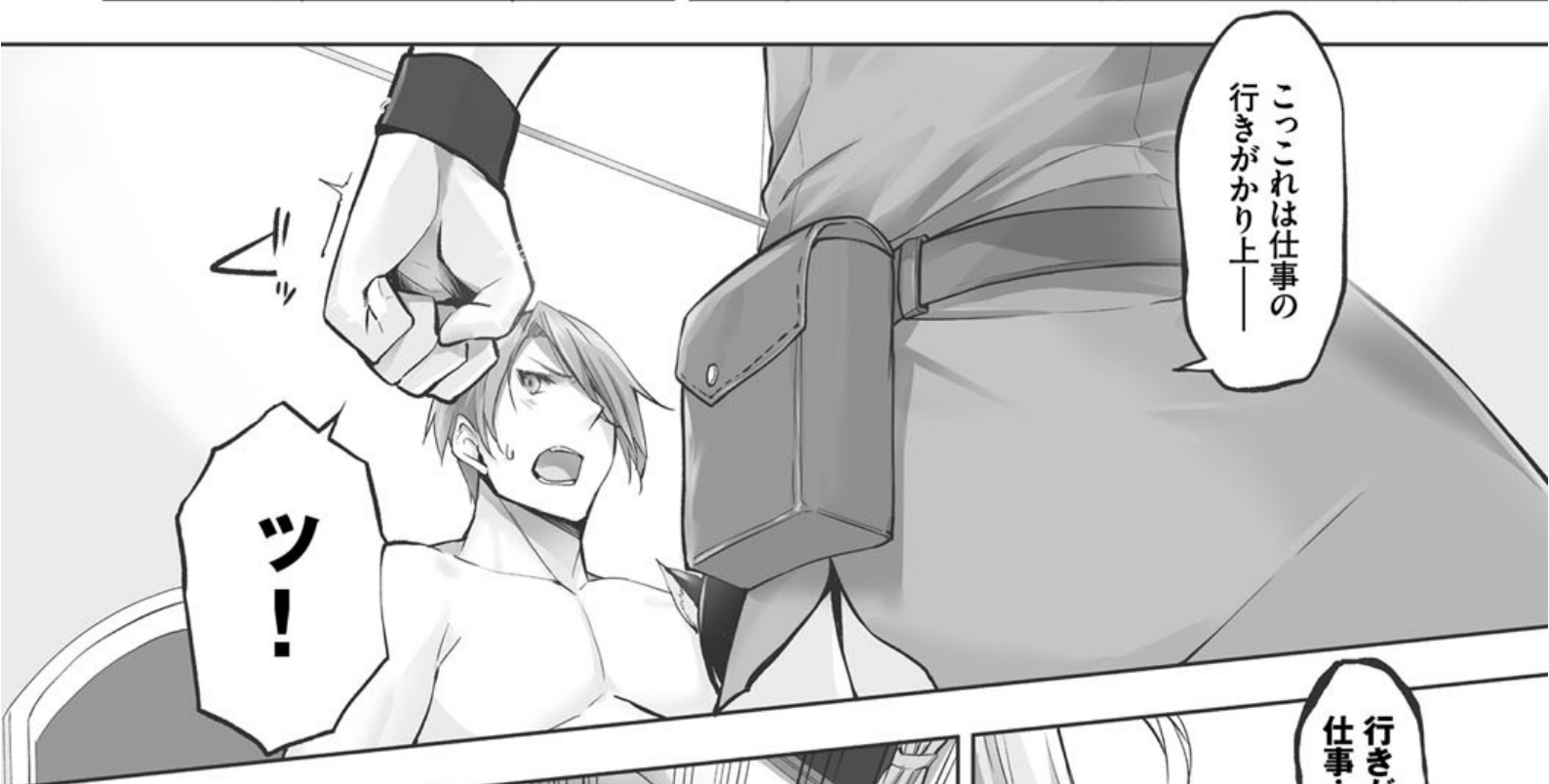


それなり？
貴族の息子が
それなりの理由で

勤め先の寮に
奴隷を!?

こっ
これには

それなりに
事情があつてだな



こっこれは仕事の
行きがかり上――

ツ！



だからっ！



行きがかり…？
仕事…？

リーシャ？

お兄様が
憲兵になるの

反対だったの！



何がそんなに
気にかかっている？

リーシャ…

なぜ俺が、奴隷と
接することを
そんなに嫌がる？



……



?

…

…—そ
それは…お兄様が
♪ホームクルスに—

…いえ—

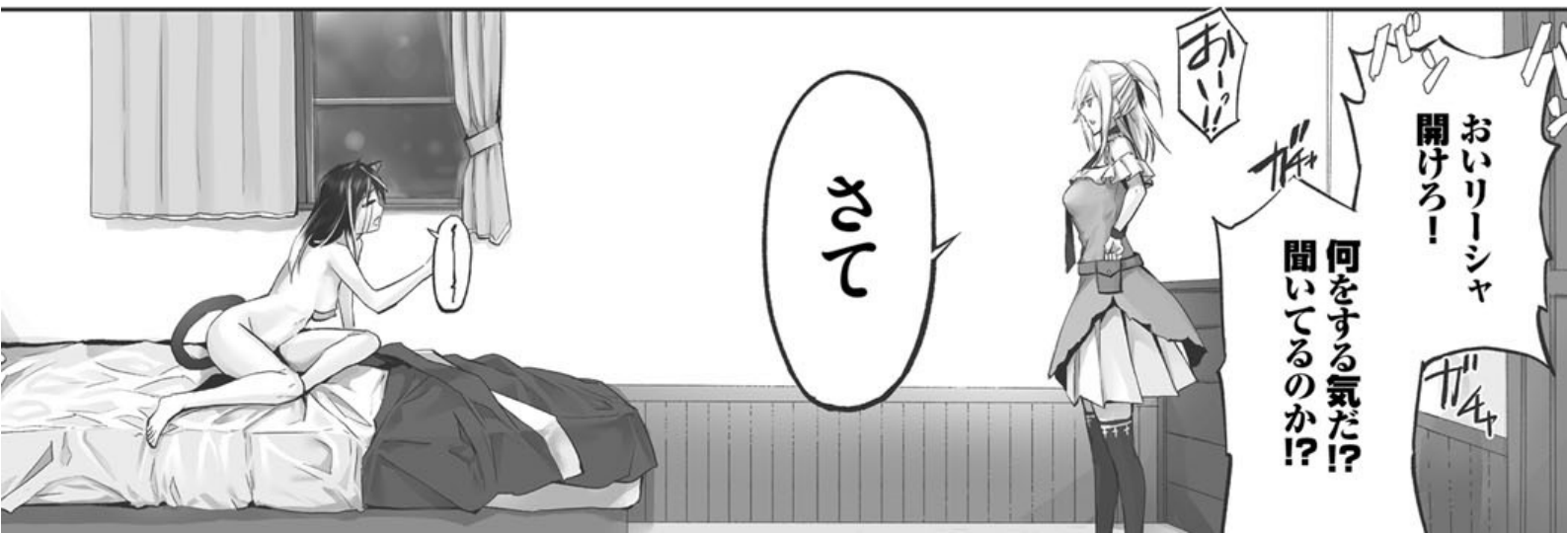
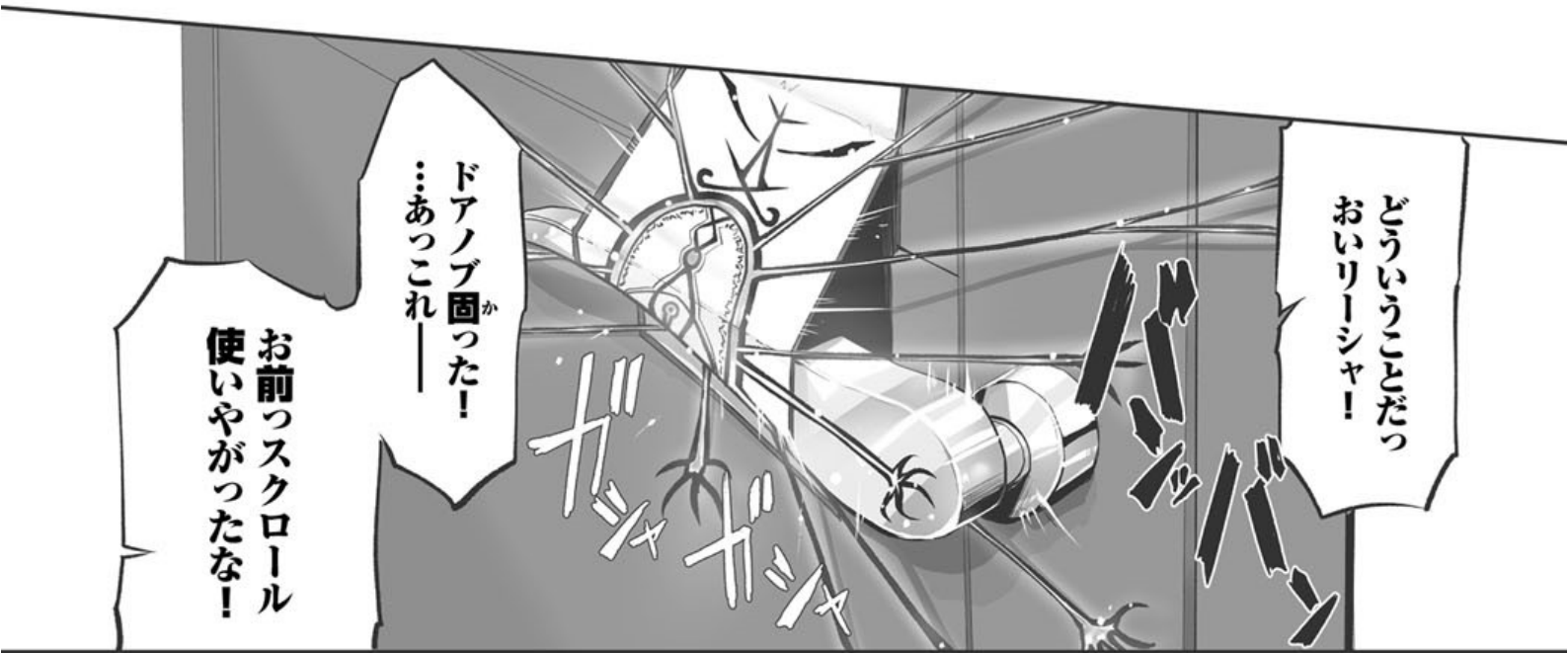


それはっ！

お兄様が
♪奴隷との
快楽に溺れて

お仕事を
おろそかにするのを
心配しての♪と
ですわっっ！

ナニ？！





やはりお兄様は
優しい…っ

「この」
奴隷にも
情が移ってるのは
明白…

「ホムンクルスと
人間」を
同じに見てしまっ…

なんとか
しなにと…

あの頃の…
何もできなかつた
私ではないの
だから——

もっ…









女の口は
いつもは
初めてですか？



あら

分かりませんか？
けれど安心して
くださいませ…

私女のユから
モテるんです♡





だから
身を任せて

ガッ

パッ

気持ち良
なりましょっか♡





まっ
ホムソクルスは
私も初めてでは
ありますけど...♡

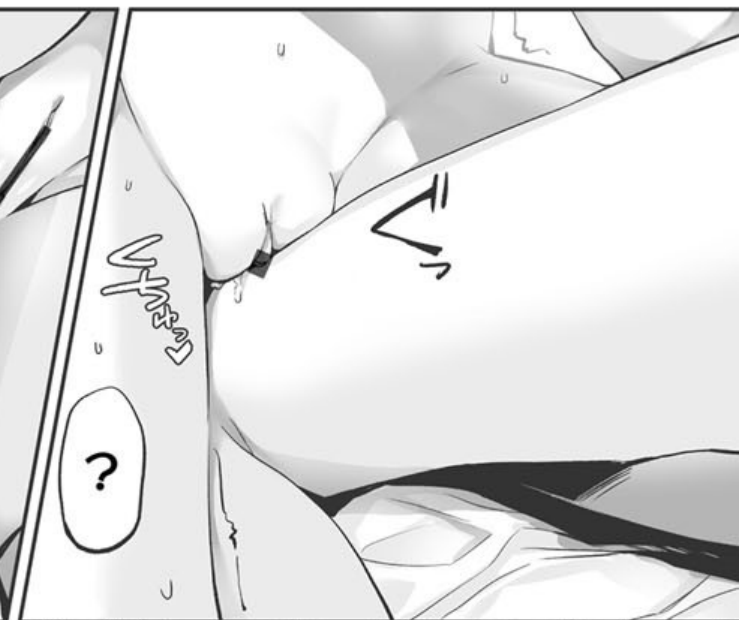


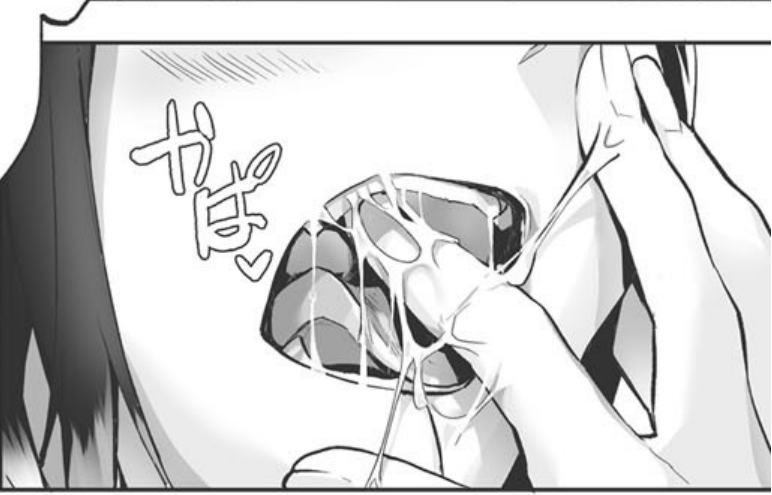
随分と
感じやすいん
ですのね♡



ん...







おっふんふん

おっふんふん

ちゅん
ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

ちゅん

口の中も
独特な感触が
するんじゅのね

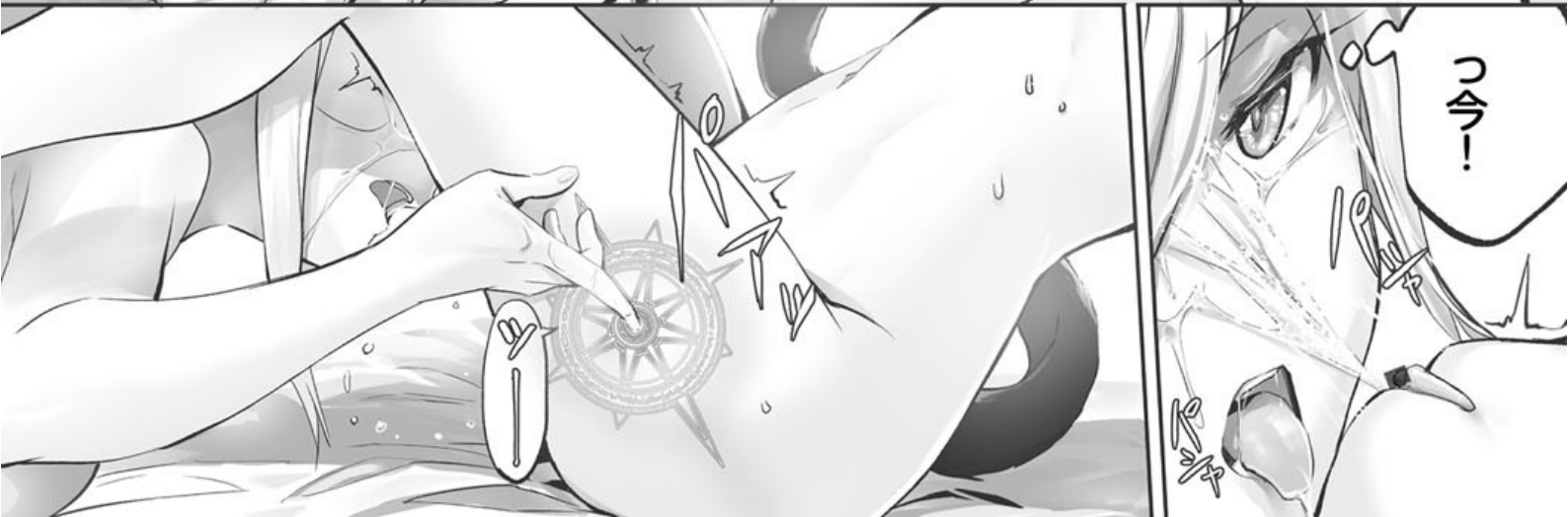
免強にちゅん


…ちゅん

ちゅん

…ちゅんちゅん
あなたのじゅん
見せたいから
ますわね♡♡♡







私の魔法は
その者の魂が揺るぐ時
その色を見ることが
できる……



—ああ…

その声…
でしたか…



遅いっ！



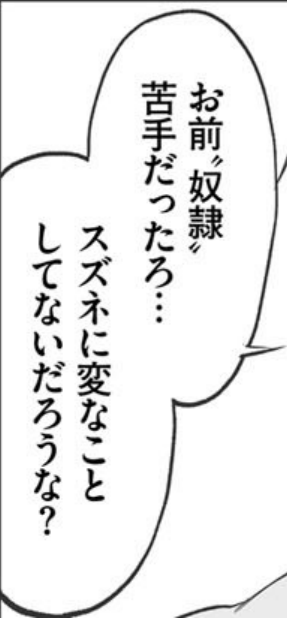
根に持つな
悪かったよ

さっきの今で
よくそんな...

197

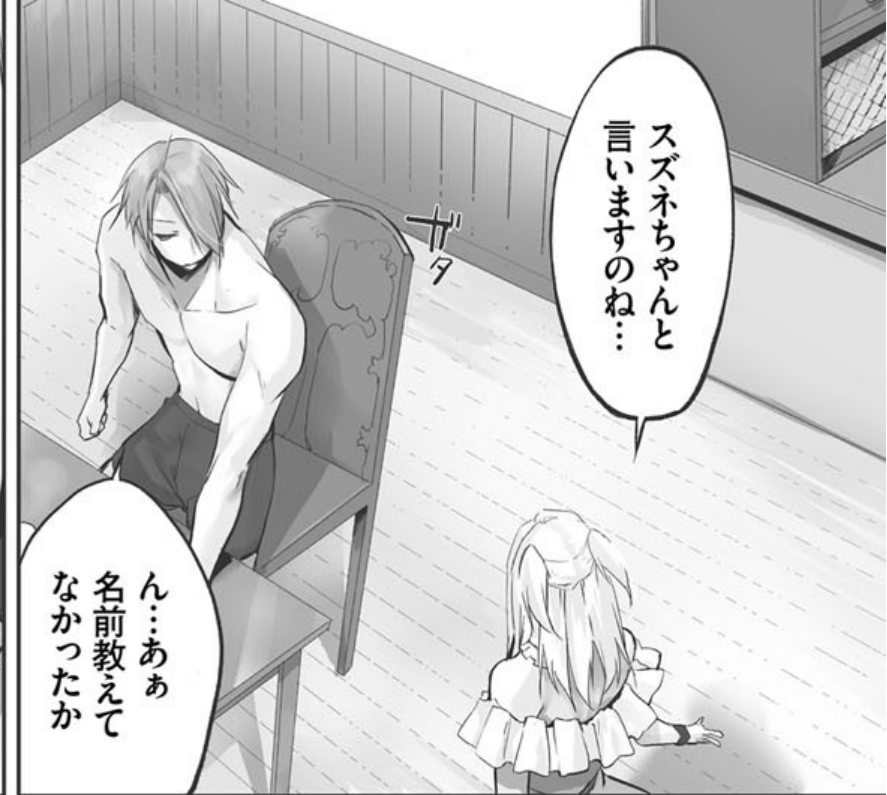


...



お前、奴隷
苦手だったろ...

スズネに変なこと
してないだろうな？





…というわけで
やってきました

この街一番の
商業アーケード!

ふう…

貴重な非番に…
どうしてこうなった

転ぶなよ

お兄様の部屋に
生活用品が
全然ないからじゃ
ないですか

……そう
だったな…





行ってこい…
もう何も
されないはずだ
…多分

ささ…



という
わけで！
さっ♪
行きましょうか
スズネちゃん！



相変わらず
お兄様にべったり
なんですね…

あんなら



ん？ どうした
行かないのか？



おっおい！

それでは三人で
一緒にお買い物
楽しみましょう！



スズネちゃんは
きれいな髪
していますし…

どんな服でも似合う
でしょうから
迷いそうですね！

キーン



それじゃまず…
スズネちゃんの
服を見ましょう！



リーシャは妹を
欲しがってたからな

お前を妹みたいに
思ってるんだろう

!!!



！

少しつきあって
やってくれ



キーン



なぜお前が
そんな得意げ
なんだ？

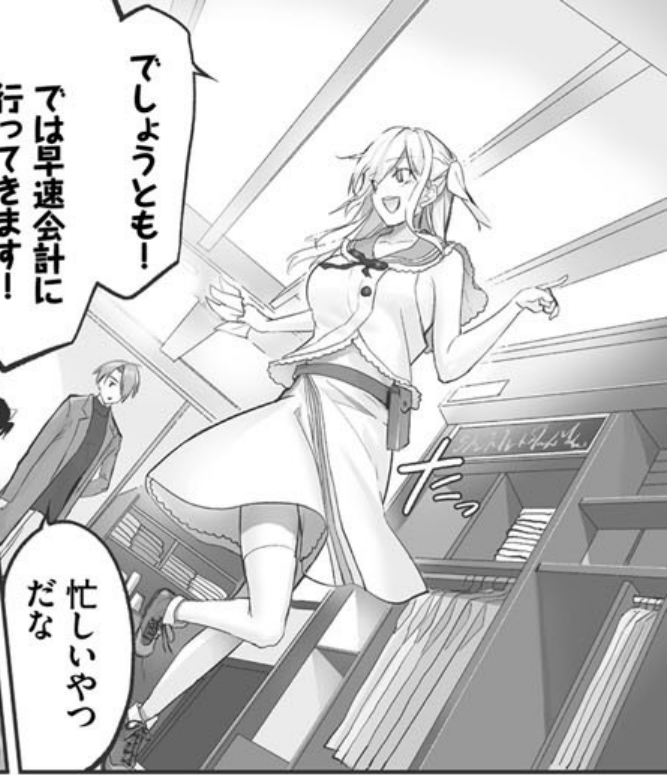
ビーですお兄様！
私のコーディネートは！
お兄様を絶対
萌え殺す服
選んでみました！



まあ悔しいが…
実際似合ってると思っぞ



もじ…





このまま口の中へ
おもいっきりー

お兄様？
スズネちゃん？

タッ

タッ

ちゅん
ちゅん
ちゅん



あつああ！
そのとおりだ

ちゅん



？
更衣室
ですの？

しまっー



ふーん…

回収していた
ところだっ！



スズネが
服の中に
置きっぱなしに
してたからっ



してたからっ



—では次
参りましょうか

ほっ

おっニッヤ



…そうですか

じ



一時的に淫紋は
おさまったが—



で…

次はどの
予定だ?



しかし

次は雑貨屋で
食器を見ましよう♪

スズネも俺も
スイッチが入って
しまった…!!

ア

ア

いろいろなお皿が
ありますわね

これは東洋の器で
お茶碗というん
ですって

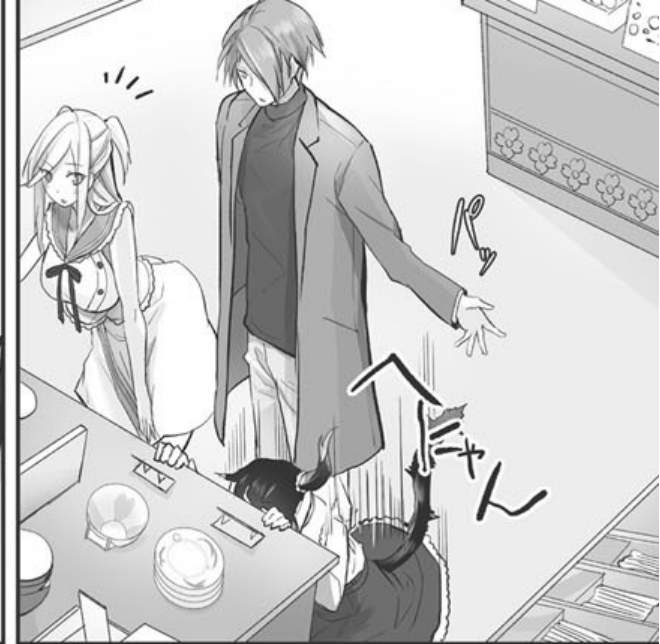
……

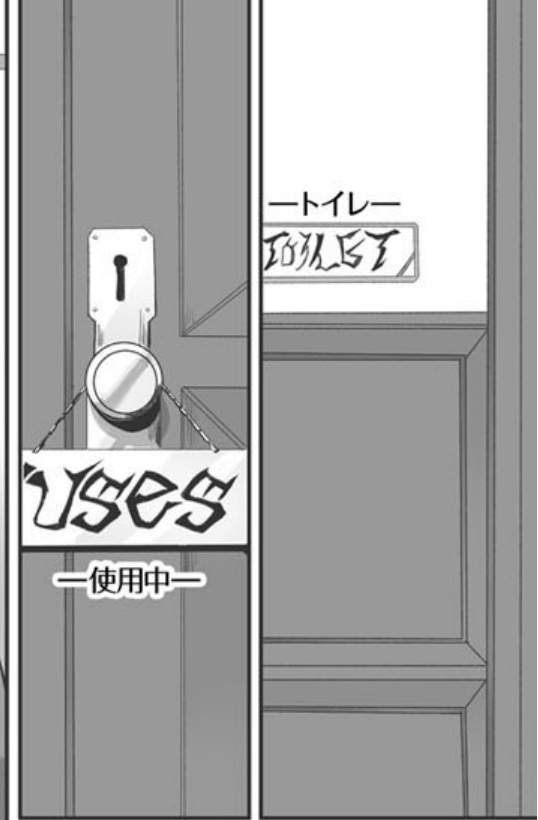
💡

どれどれ？

まじっ

んっ







……だが
それは俺もだっ



もう限界って
感じだな…



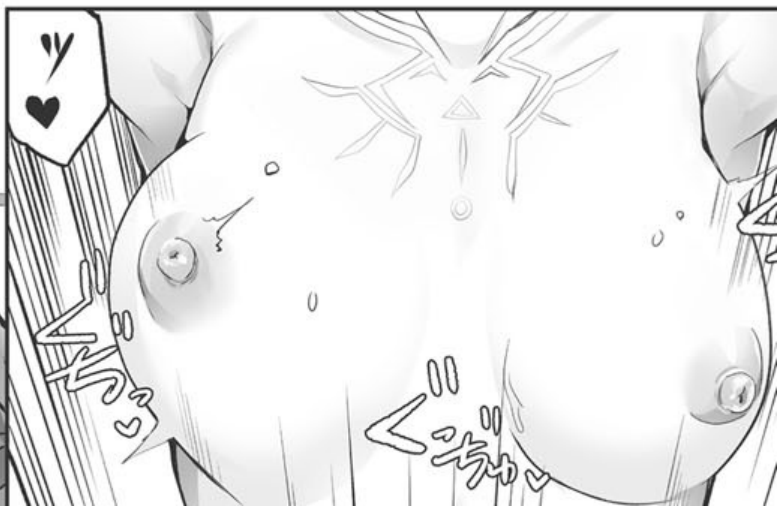
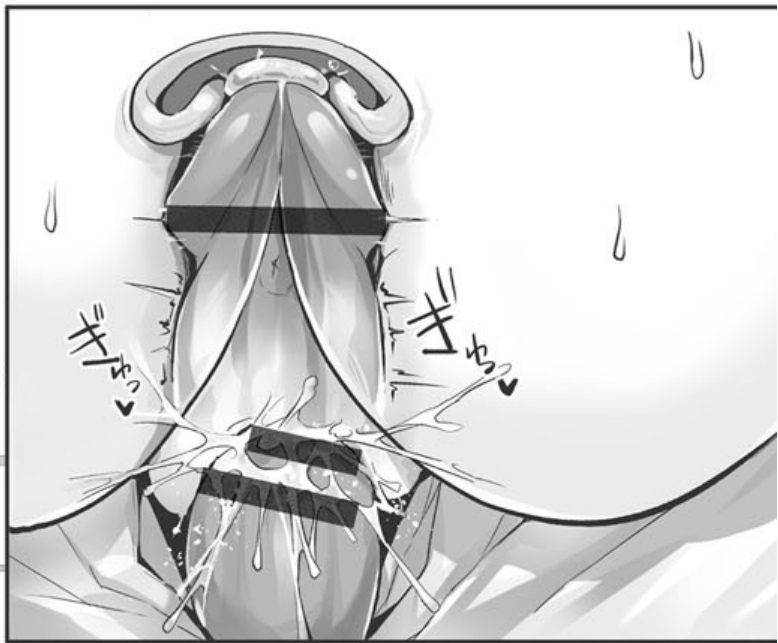
挿入れるぞ…

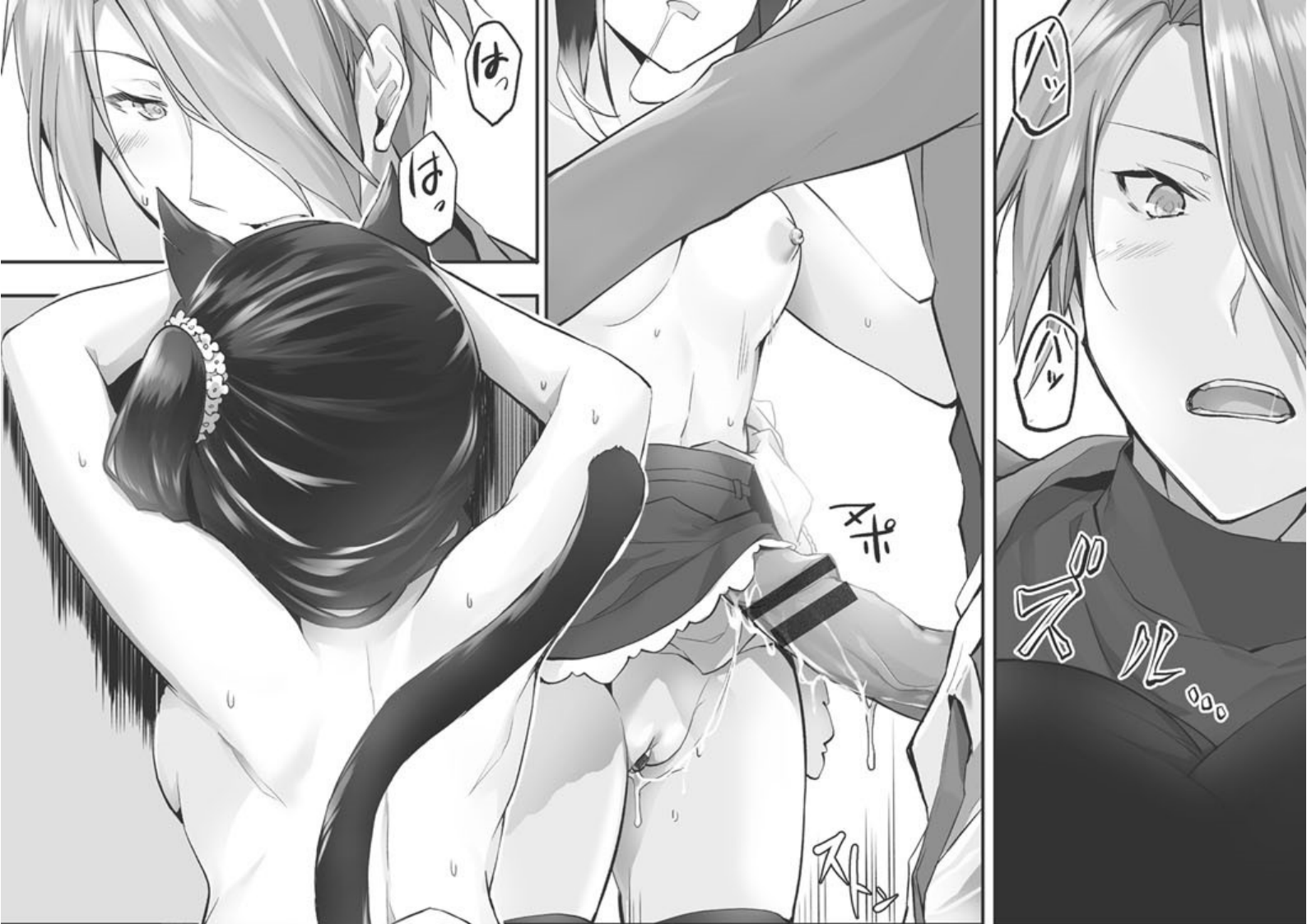


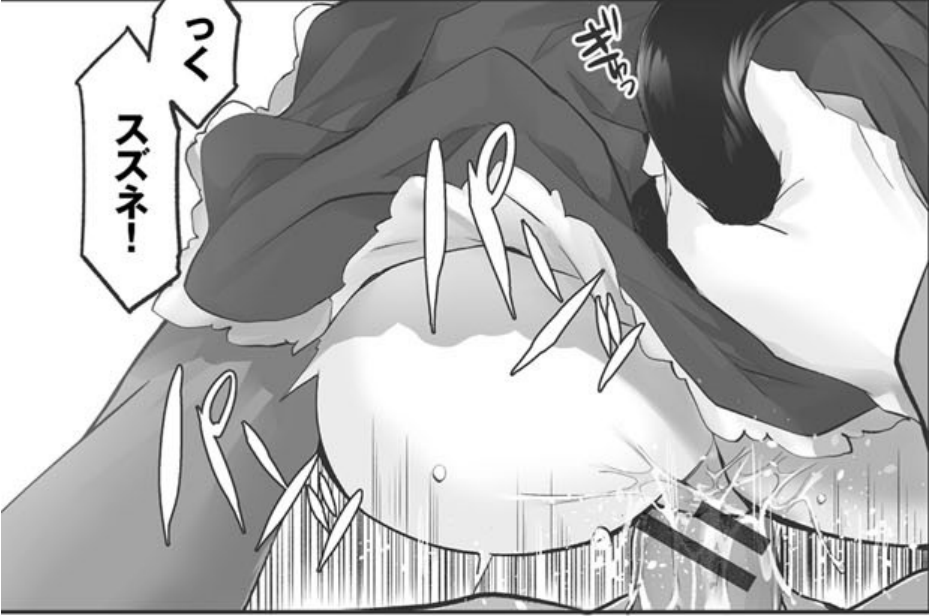
くちゅん













あ

あらあら…
心配して探した
来てみれば

…最近
流されて
ばかりだ…

気をつけないと
いつか人に
見つか—

カ
カ
ヤ

思ったより
お元気だったようで
安心しましたわっ!!





朝から元気だな
お前は
何かあったんだ

あつ先輩
いいところに！
ヤバイッす！



——深夜まで
説教食らって
しまった…っ

おはよう



!?

これは珍しい



いやあ

朝早くに
押しかけて
すまないね

クライアン君



入ってくれ

相変わらず話の
早い男で助かる

実は君に
会いたいという
人物を連れて
きたのだ…



へゼル大佐！

あなたが来たとい
うことは
また特例事件ですか？



——君に一つ
解決してもらいたい
事件がある…



アイーナ・
ラベルカ嬢だ

よろしくだ
バルド・クライアン

TO BE CONTINUED...

ラベルカ商会



第9話

武器を主に扱う
大商会の一つ――

だが経営には
手法を選ばず
悪名高く有名だった

――だがアイーナが
代表になり
一気に透明化された

まず取引先として
国家を相手取り
国家もこれに応じた

お前が
憲兵になった時には
ラベルカ製の武器が
支給されてたろ？

確かに……
よく見たら！

……お前
技術部出身者じゃ
なかったっけ？

結果……違法な武器が
世に出回らなくなり

――逆に憲兵の
武器品質が向上し
治安が安定した……

――本件は
そんな彼女の
直々の依頼だ
気合い入れてけ！

ま……

作戦概要は
頭に入っている
だろうか？

まったく
入っていないツス

お前ほんと
ぶっ飛ばすぞ！



——今回の任務は
『特殊武器の回収』：
過去に横流しされた武器が
この屋敷にいる
違法奴隷売買業者に
悪用されている…！



事情が事情なだけに
公には行動できない…！

ヘゼル大佐はそういった
事件を専門に扱っている



そして俺達に
そのお鉢が回って
きたわけだ

アイーナ女史の指示で
俺達は屋敷に突入し
売人を捕縛する…

分かったか？

オツケーっス！
一度聞けば
忘れないっス

さっき作戦会議
やったんだがな？





ああ問題なく

こっちもOKです

私は屋敷の
屋根の梁の上だ
状況を見て
作戦を指示する



二人共
聞こえるか？



手はずどおり
頼んだぞ…

了解だ

期待しているぞ
拳銃の名手

フツッ



奴隷なんて死んだら
また買い直せば
良くないツスか？



何かあった場合
真っ先に救助に
行ける位置に
いたいんだろ？

へえー
でも…



しかし彼女は
なんでこんな
危険なことを
率先してやるん
ですかね？

彼女の専属奴隷が
現場に囚として
配置されている…



——ツ!

お前それは
聞きなさい
先輩っ!
見てください
動きが!!



ヤアアア

やめてっ!

!?

獣耳のリコリス①





——君はもっと
冷徹な男だと
思っていたのだが…



ああ…そつだ…
これは任務だ——

奴隷には
悪いが…
このまま静観だ

いつも見てきた光景
奴隷は奴隷…
この国の商品で
その番人が俺達憲兵だ

私の送った奴隷が
武器を回収次第
作戦を開始する——



欲望のまま
扱われるのが
当たり前——



奴隷はモノで
所有者のモノ…



仕方ない…
こと…
なのか…？



でも本当に——
そつなのか——？

泣いてるじゃ
ないか？

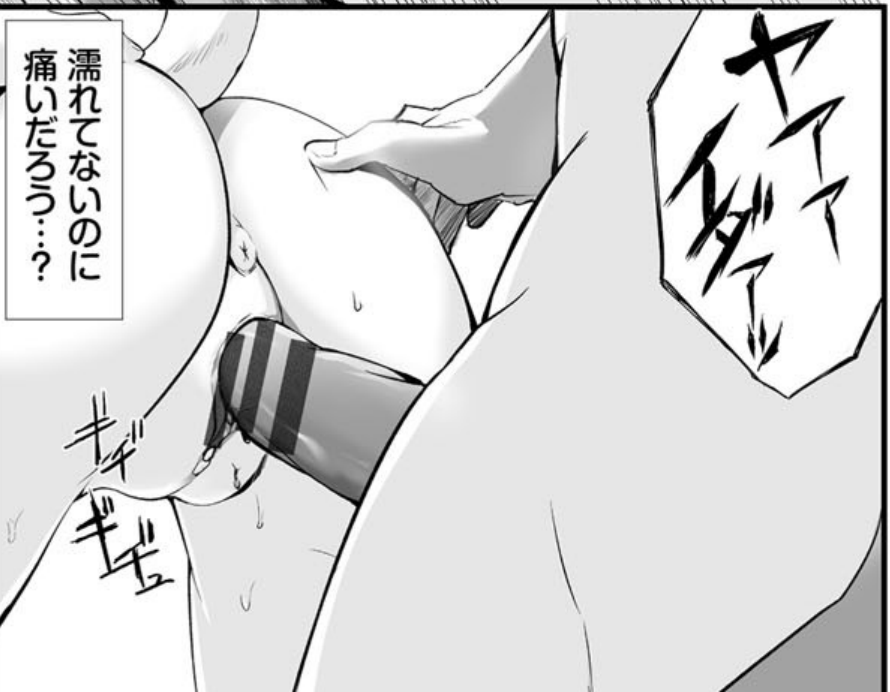
ヤアアア

キアア

ンゲム!



息がつかない
苦しいだろっ...



濡れてないのに
痛いだろうっ...?

ヤアアア

キアア



苦しめていい理由になるのか?



オラッ!
いい声で鳴けよ!

『助けてはならない
理由になるのか?』



好きなように
楽しんでから
納品でいいんだと!

今回のクライアントは
多少壊れているのが
好きな変わりもんだ!



割がいい話だ!

ヤダッ!!

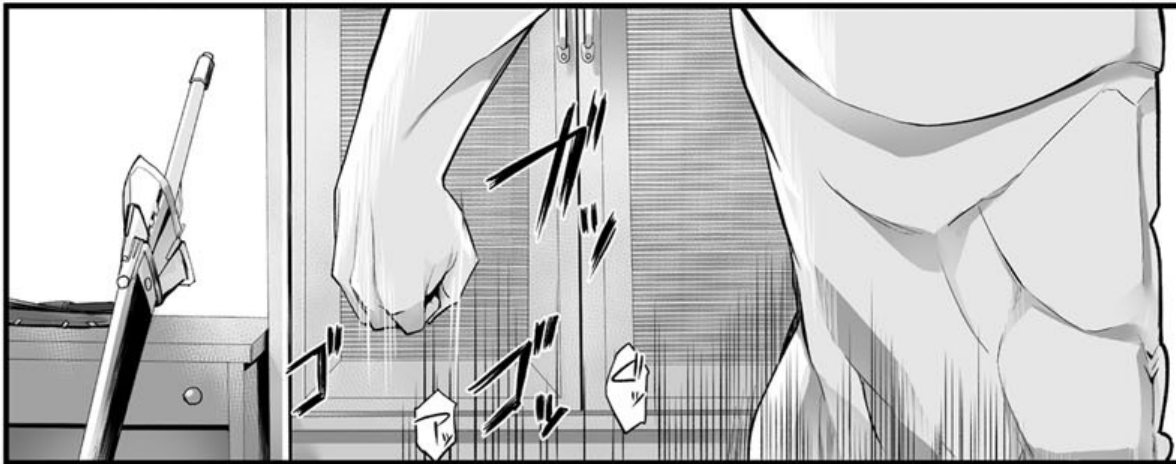


ほんとラベルカ商会
様様だよな！
あの武器チラつかせて
『交渉』すりゃ…

ガッ
ガッ
ガッ



痛い…
助け—



こんなおいしい
仕事にありつけるん
だもんなあ！



イヤッ
やめッ！



ほら立て！
次はケツに
突っ込んでやる！

キヤッ



えらよッ

アッ

アッ

アッ

アッ



さっき薬打つとした
効き目が出れば
このとおり
商品価値倍率ドン!

やりすぎる
なよ??

心配ねえ!

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

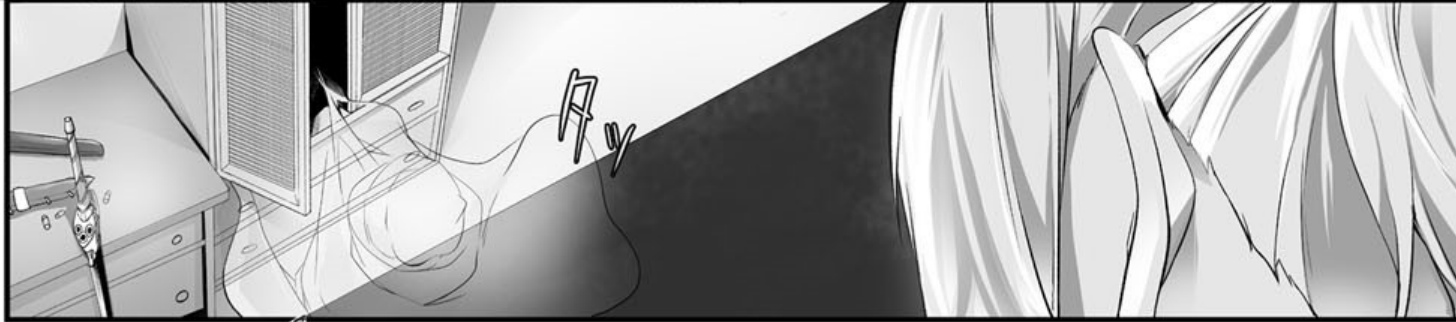


いいぞルイン

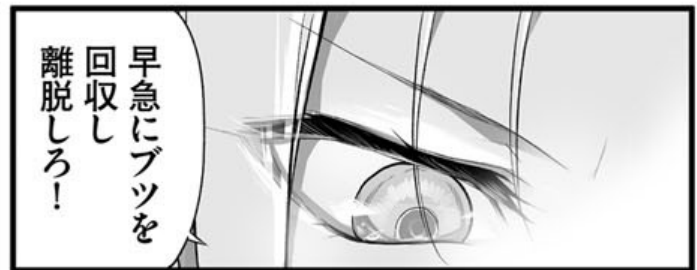


精神も肉体も
いい感じに
壊せる♪

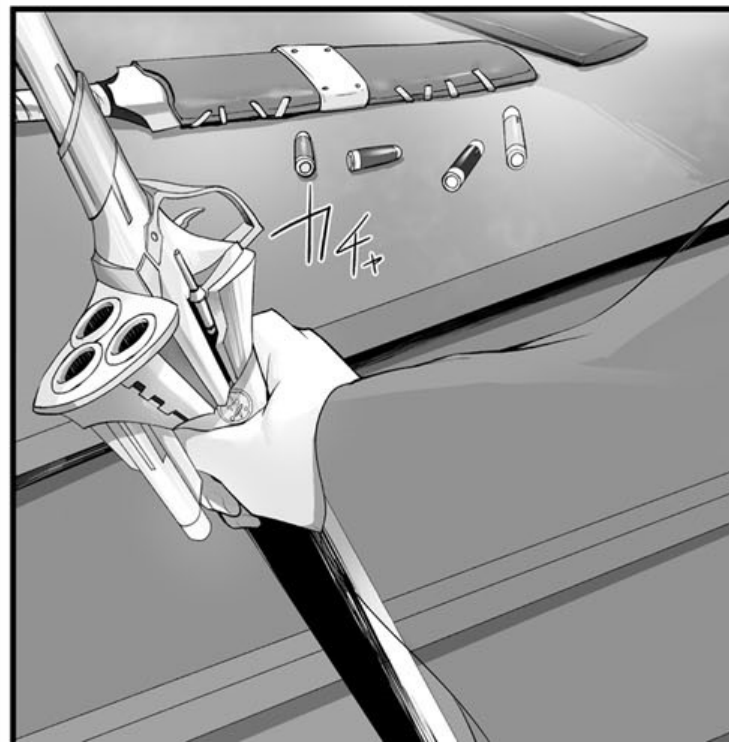
ありや本当に
便利な道具だな



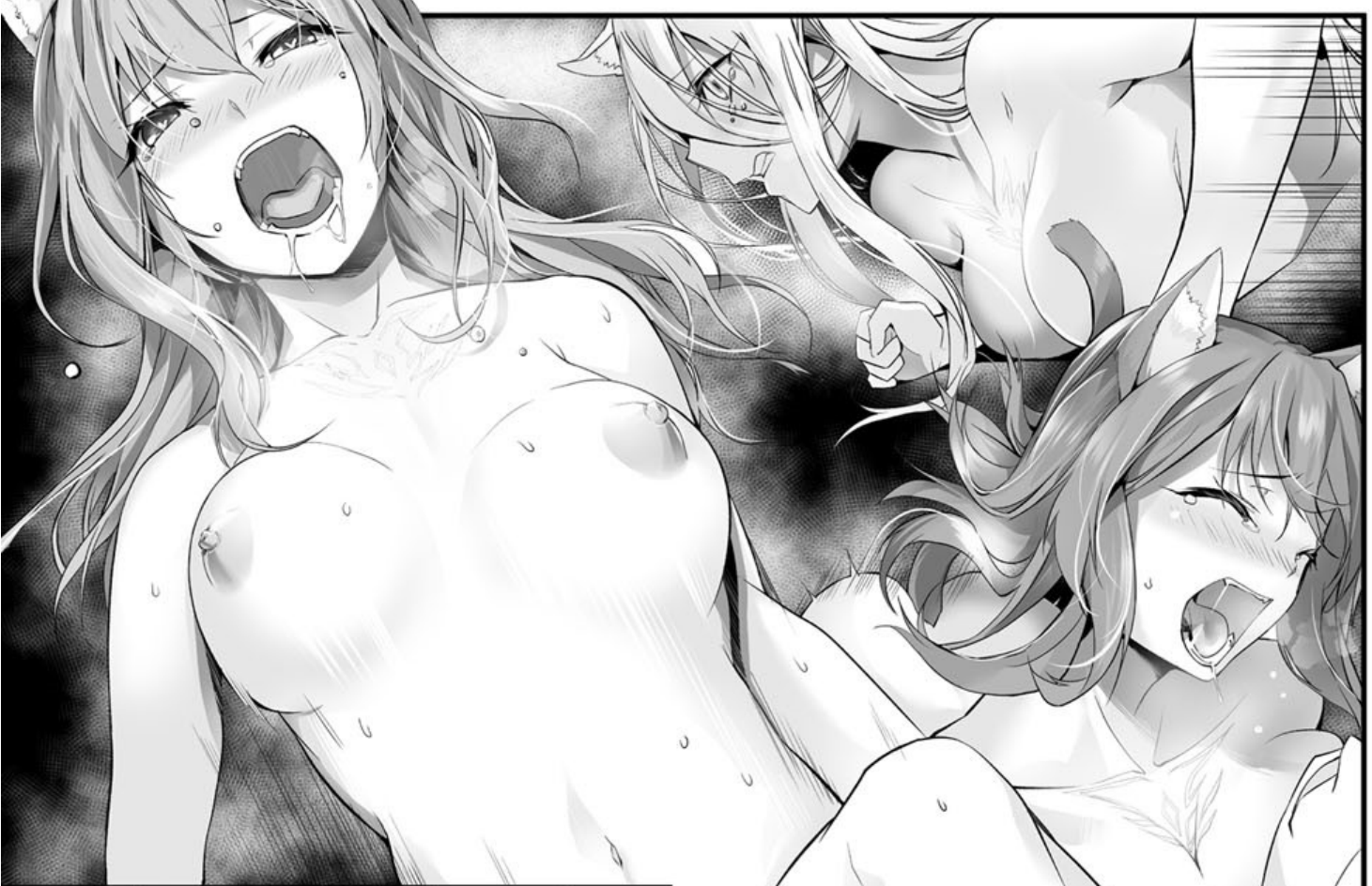
アッ



早急にブツを
回収し
離脱しろ！



アッ





変な気を起こすなよ



だからこそ今は
任務に集中しろ

どうして
キキキキキキキキ



我が社の武器を
胸糞悪いことに
使ったツケは
ちゃんと払わせたい



何より

このままだと
私も気分が悪い



おいおい
どうした？

急にでけえ
声出しやがって

ガッ

いっつえんぞッ
このクソがッ!!



おめえも
同じ目あって
みつか？あ？



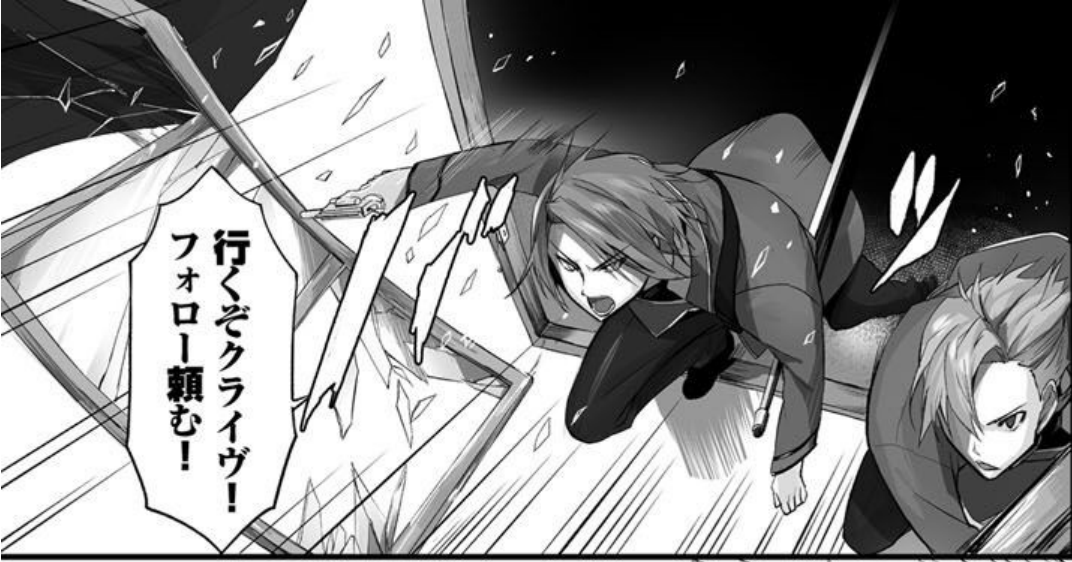
そんな言葉で
許されると
思ってるのか!?

すっ
すみません!



こいつ俺のチンコに
歯立てやがったん
だよっ!





行くぞクライヴ!
フォロー頼む!



魔眼持ちだと
!?!

マズい!
見つかった!



大丈夫か!?

クライヴさんだッ



チツ!
憲兵か!

オラ奴隷!
役に立て!

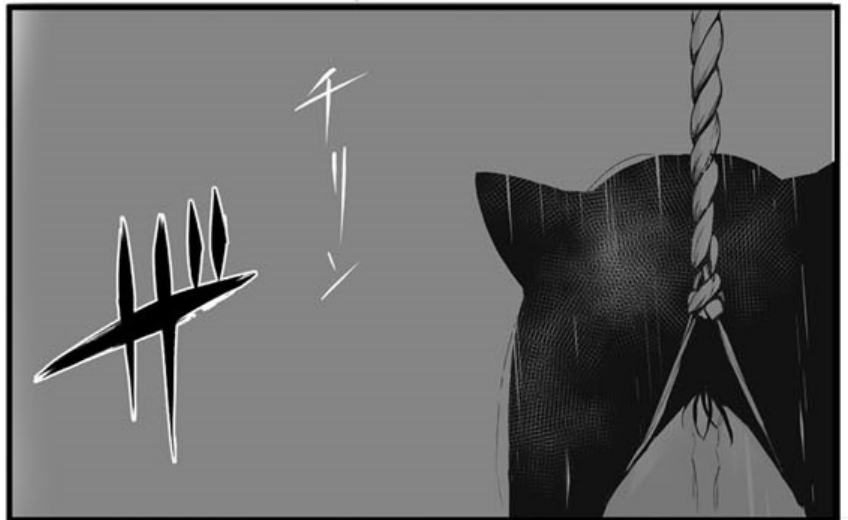
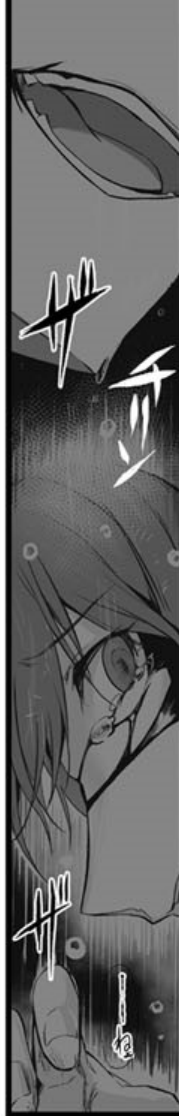


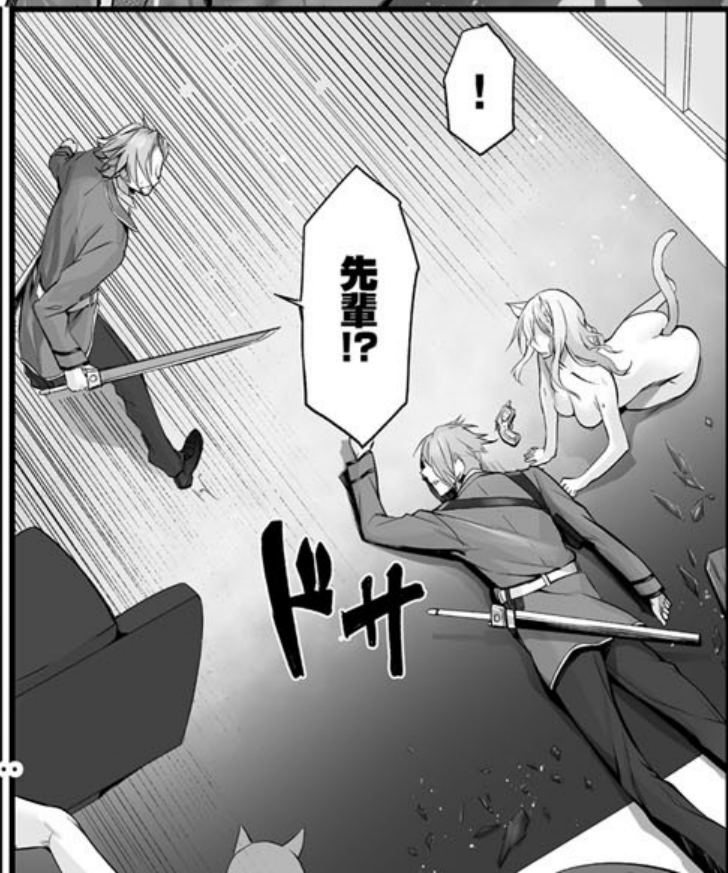
おっちなや!



てめえは
逃さねえ!







■2巻へ続く…

電子版限定
描き下ろし
特典コミック
★★★★

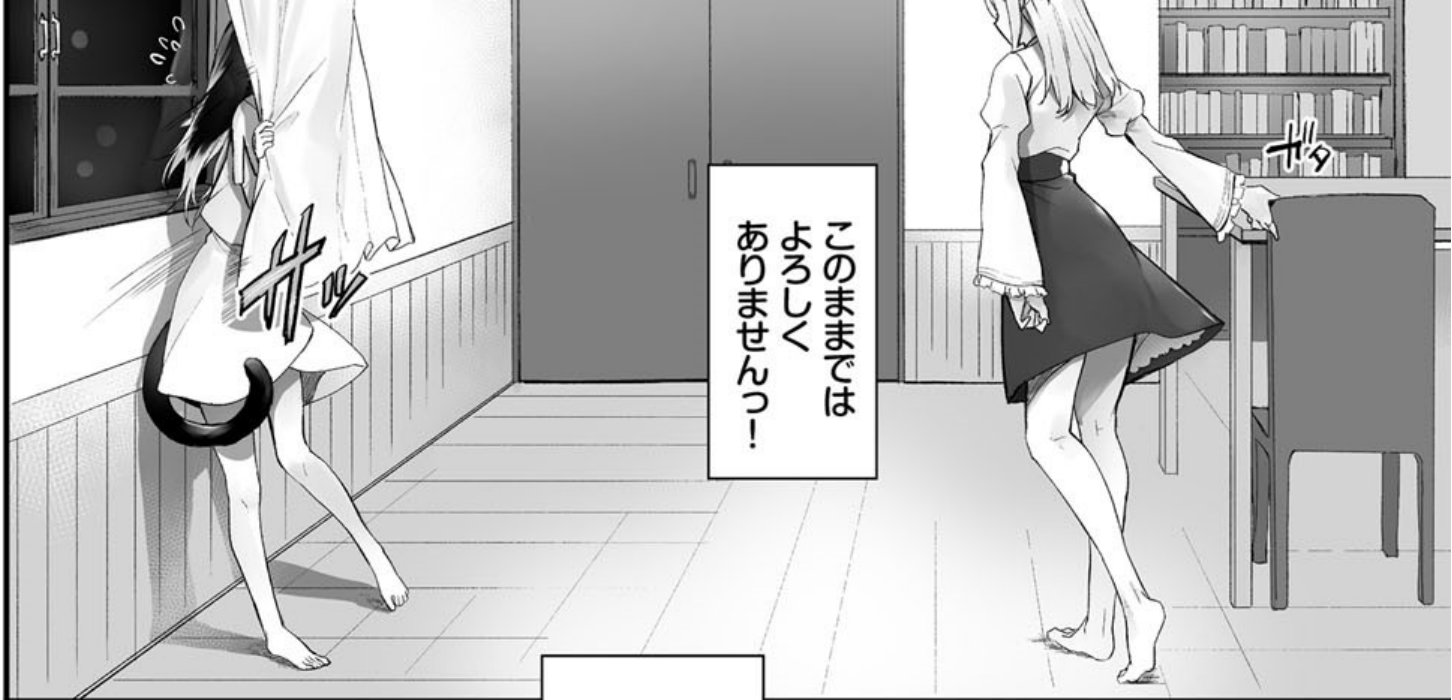
……さて
困りましたわ

スズネちゃんの
魂の色を見るため
半ば無理やりの行為を
強要したからか——

第9.5話

ど警戒されて
ますわ——っ！

スズネちゃん
の魂の色……



このままでは
よろしく
ありませんっ！



早急に
なんとかせねば
なりませんっ！

あのくく？
スズネ…
ちゃん？



アーツ
ダメっぽいですがわーっ

クワイッ



それが肝要!



こつこつ時は
まず以前と同じ
状況を作り出し...

『私は無害な存在』
だということをも
アピールする!



お風呂っ

行きま
しょうっ♪



スズネちゃん



はい
ばんざーい

スズネちゃんも
服脱がないと

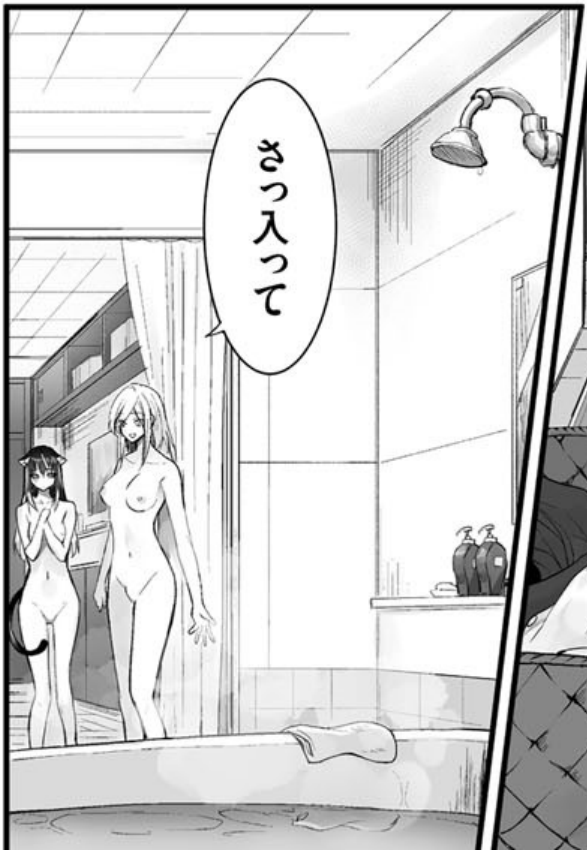


あら？
意外とかわいい
ショーツ♪

お兄様
なかなかいい
趣味してます



おず



さっ入って

…抵抗なく
ついてきたけど
ずいぶん従順
なのね…？

もっと警戒されて
逃げ出すかと
思っていましたわ

お風呂は
初めてじゃない
ですわよね？

ですわよね…
ホームクルスには
自浄能力があるとい
っても

あのきれいな好きの
お兄様が
お風呂に入れない
わけじゃないですわね…

さっ
まずは髪から
洗いましょう♪

控えめな
性格…

幼い体軀

「奴隷」としては
あまりに
魅力に欠ける…



珍しい色の
瞳——

けれど
「奴隷」として
あまり見ない
艶やかな黒髪…

それは素直に
美しいとさえ
思う…

——多分私は
ココの「コ」を
悪く思っていない

こんなにも
あの「奴隷」と
重なっている
「Slave」



それとも…
ココが気に入った？





ずいぶん
あつたまり
ましたわね…

ちや

ぶい

スズネ
ちゃん？

？

スズネちゃんは
お兄様と
どうなりたい？

お兄様と
ずっと一緒に
いたいのか？

…

お兄様はね
多分あなたのこと
とても大事に
思ってる…

だって、奴隷に
関することは
ずっと仕事として
割り切ってきた

……なのに
あなたの前では
すごく自然な顔を
するの…



私は二人には
このままできて
欲しいと思ってる

お兄様が
づらい思い出に
追いつかれない
ように――



たわいもない話に
つきあってくださり
感謝しますわ……

……では
そろそろ
出ましようか



……って
何言ってるか
分かんない
ですよわねっ

今は気にせず
お兄様の側にいて
あげてくださいね

大丈夫…

何事もなく
日々を過ごせる

信じております
お兄様——



…

…にしてもお兄様
遅いですわね…？

せんぱい!!

お仕事忙しく
してらっしゃるの
かしら？

◆つづく◆

あとがき

ご購入いただきありがとうございます!!
念願の紙単行本!! うれしい!!
まさか出るとは思ってたので、本当
うれしい!! 電子版読んでくれた方、
担当さんには本当感謝しかない!!

これからも紙の方でも
本を出していけるお
がんばっています
ので、応援よろしく
お願いします!!

この二人のお話は
ダズコミにて
隔月で最新話が
読めますので、
よろしければ
チェックしてみ
て下さい!!
たまに表紙も
描きます(´▽`)

あとがきまで読んでくれて
ありがとうございます!!
ではまたお目に掛かれること
祈りつつ。

京59

この作品を読まれた御意見・御感想がありましたら
下記の住所までお送りください。

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-25-4 SH神田南神保町ビル3階
(株)文苑堂「京極燈弥」係

●皆様からのお便り、心よりお待ちしております。

獣耳のリユリス①

発行日

2022年1月8日 初版発行

著者

京極燈弥

©KYOUGOKU TOUYA 2022

発行人

菊地勝男

発行所

株式会社 文苑堂

東京都千代田区神田神保町1-35

電話 03(3291)2143 営業部

編集

石川義人

装丁

sagaris studio

印刷所

図書印刷株式会社

※無断転写・複製・転載を禁じます。

※落丁・乱丁本は小社でお取り替えいたします。

※本書掲載作品は全てフィクションです。

実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。

ISBN978-4-86117-384-4


Lycoris of Kemomimi

◆ここは、剣と魔法と銃の世界…
傷つき言葉を失った“性玩具”^{ホムンクルス}を
偶然保護した憲兵「バルド」…
淫紋を輝かせ精液欲しがる獣娘。
幼少の記憶がなく空っぽな青年。
数奇な2人の共同性活が今始まる!

愚か者は
猫耳奴隷に依存する
初めての調教生活

14

京極燈弥

愚か者は
猫耳奴隷に依存する
初めての調教生活

最新
14話
配信!

この続きはWEBにて絶賛連載中!!!

公式HP <https://comicbavel.com/dascomi-a/>






Lycoris of Kemomimi

成年
コミック

獣耳の

Lycoris of Kemomimi

1

キミを

飼う物語。

WEB発!
獣の娘

1日育成シリーズ
待望の単行本化!!

無垢な体躯に刻み込む
快楽と幸福の感情♥

みだらに溺れる同棲性活♥

京極燈弥

